

# 年報

—平成16年度—

2005

大磯町郷土資料館

[事業報告]	
庶務	2
・組織および職員	
・運営委員会	
・予算	
・維持管理	
・入館者	
学芸	4
・企画展	
・学級／講座	
・刊行物	
・調査／研究／普及	
・博物館実習	
・博物館資料の収集と利用	
文化財	33
・文化財専門委員会	
・文化財の調査	
・文化財の保護啓発	
・埋蔵文化財	
[研究報告]	
大磯町郷土資料館所蔵の唐箕について	
佐川和裕	38

# 事業報告

---

## 庶 務

### ■組織および職員

教育長	教育次長	郷土資料館	(郷土資料班)	
渡邊修司	今井 正	館長 武藤清治	副主幹	福島 章
			副主幹/学芸員	佐川和裕
			主 査/学芸員	國見 徹
			主任主事/学芸員	北水慶一
			臨時職員	加藤廣美
			臨時職員	畠山恵子
			臨時職員	渡邊恵子

### ■運営委員会

#### <委員の構成>

- ・委員 長/石田和夫 (学識経験者)
- ・副委員長/廣瀬利郎 (社会教育委員)
- ・委 員/稲葉和也 (文化財専門委員)
- 近藤英夫 (町史編さん委員)
- 福島睦恵 (学校長)

#### <委員会の開催>

- ・第1回/平成16年7月15日 平成15年度事業報告について、平成16年度事業計画および進捗状況について
- ・第2回/平成16年12月1日 大磯町郷土資料館の基本方針について、平成16年度事業の進捗状況について、合併50周年記念展について
- ・第3回/平成17年2月23日 大磯町郷土資料館の基本方針について、平成16年度事業の進捗状況について、共催展について

### ■予算

#### <当初予算の推移>

単位：円

年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
金額	57,666,000	69,757,000	62,801,000	61,638,000	60,940,000	63,293,000

□郷土資料館費 70,511,000円      □文化財関係費 4,362,000円      ■計 82,313,000円

\*緊急地域雇用創出特別対策事業費 7,584,000円

#### <平成16年度決算>

単位：円

事業	運営委員会	運営事務	維持管理	学芸活動	企画展	教育普及
金額	73,940	2,881,657	16,051,952	1,926,499	793,756	107,907
事業	文化財専門委員会	文化財調査保存	計			
金額	130,380	3,323,767	25,289,858			

□職員給与(5人分) 45,392,130円      ■歳出合計 70,681,988円

\*緊急地域雇用創出特別対策事業費 7,560,000円

### ■維持管理

#### <委託業務>

- ・清掃委託/(株) 郵生
- ・空調設備給水設備保守委託/高砂熱学工業(株) 横浜支店

- ・消防用設備保守委託／(有) 湘南消防器具商会
- ・昇降機保守委託／ダイコー (株) 横浜営業所
- ・自動ドア保守委託／(株) 神奈川ナブコ
- ・自家用電気工作物保守委託／小島電気管理事務所
- ・浄化槽維持管理委託／湘南興業 (有)
- ・警備委託／(株) 全日警 横浜支社
- ・燻蒸業務委託／関東港業 (株) 横浜営業所
- ・敷地管理委託／(財) 神奈川県公園協会
- ・祭り船解体組立 (展示) 委託／大磯御船祭保存会
- ・木造神像修理委託／光圓美術研究所
- ・動物剥製委託／(有) 尼ヶ崎科学標本社

<施設の修繕>

- ・エレベーター機器修理／ダイコー (株) 横浜営業所
- ・中央監視装置部品交換／(株) 山武ビルシステムカンパニー 横浜支店

■入館者

<入館者の推移>

単位：人、日

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	累計 (昭和63年～)
入館者数	25,395	32,886	30,835	28,497	28,250	559,218
1日平均/開館日数	91/277	117/281	112/274	100/285	97/291	119 /4,675

<月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	3,561	2,750	1,851	1,946	1,717	1,819	2,924	2,902	1,647	1,836	2,297	3,000	28,250
1日平均	142	110	80	84	68	72	112	120	71	79	99	115	97

<見学・視察>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	5	3	1	3	1	4	2	3	2	1	1	27

<学校利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼稚園	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2
小学校	3	1	1	—	—	—	3	—	—	1	—	1	10
中学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3
合計	3	2	3	1	—	—	4	—	—	1	—	1	15

<研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	16	16	12	17	13	13	11	11	12	10	11	8	150

## 学 芸

### ■企画展

江戸民具街道・大磯町郷土資料館共催展1「灯」

期 間 平成16年5月2日(日)～8月31日(火)

開場日数 96日間

会 場 企画展示室、休憩室

資料点数 約130点

料 金 無料

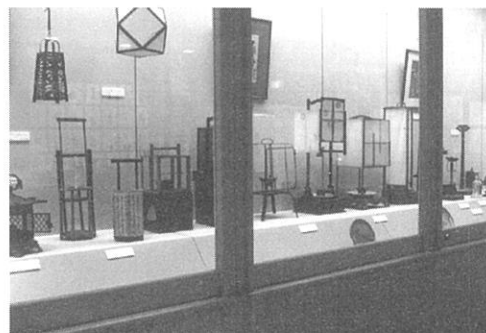
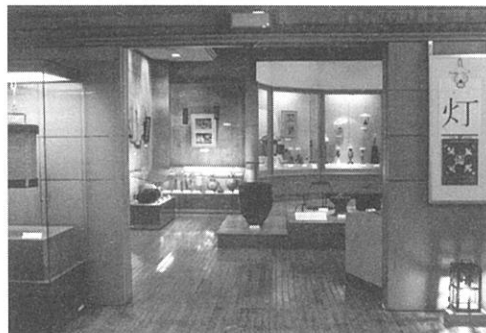
入場者数 8,264人

(趣旨) 近年、博物館利用者の知的欲求は多様化し、博物館をめぐる環境も大きく変化するなかで、博物館相互のネットワークはますます重要になっている。江戸民具街道と当館は、設置の経緯や運営スタイルこそ異なるが、最終的には同じ目標を持った博物館施設である。それぞれの博物館の特徴を活かしながら、できることから協働することで、一層充実した資料や情報を多くの方々に提供できることはもちろん、両館がそれぞれにスキルアップし、今後の博物館活動のあり方を考える契機になると考える。

(内容) 私たちの暮らしにとって、最も身近な道具のひとつである「灯(あかり)」をテーマとした。展示資料は、灯火具を800点所蔵する江戸民具街道のコレクションを中心に、130点余りで構成した。さまざまな素材に光源を求め、さまざまな工夫が施された灯火具を見ることで、暮らしのなかで培ってきた人々の豊かな発想、確かな技術、きめ細やかな心遣いを感じとっていただくことを期待した。展示資料のうち、そのほとんどが江戸民具街道所蔵資料で構成したため、当館で活動対象としている地域の特長を描き出すことは、やや希薄となってしまった感がある。もちろん若干ではあるが、当館が所蔵している相模湾の漁撈にかかわる灯火具や情報を挿入するなどの工夫は試みているが、それがどれほどの視点を確保できたのかは心もとない。何よりも、アンケートにおいて企画の地域性についての批判的な意見がみられたのは、真摯に反省すべき点といえる。ただ、一つの信念をもって長い年月にわたって収集され続けてきた“個人コレクション”は、少なくとも一自治体の小規模博物館の力では到底収集することのできないものばかりであり、その圧倒的な存在感は観覧者に強い印象を与えたようである。また、それぞれの館が持っているネットワークにより、広報活動において相乗効果がみられた点などは、両博物館の活動を補完しつつ特徴を活かそうという当初のねらいにかなったものと考えている。

なお、本展示は共催展ではあるが、両館の展示・運営環境などを考慮して巡回展とはしなかった。本展示に使用した資料群は、その多くが江戸民具街道の常設展を構成する資料であることや、企画展示スペースが双方で差異があること、また、江戸民具街道側の入館料が有料であることなど、いくつかの点で課題が認められたためである。

さて、本展示では会期中にアンケートを実施した。展示室に設置しておいたアンケート用紙は、最終的に156枚回収することができた。アンケートには回答者の住所、来館回数、年齢、性別とあわせて、展示の感想や意見を自由に記載していただく欄を設けている。回収率は観覧者の僅か2パーセントに過ぎず、また、一部には記載漏れもあることから、厳密な集計をするには至っていない。しかし、ここには観覧者による展示評価、あるいは博物館評価として真摯に受けとめるべき意見が集約されている。そこで、本稿では、基本的事項の集計と、若干の感想や意見を紹介しておきたい。なお、これまでのアンケートと比べて、全年齢層から満遍なく回収されたこと、特に20歳代～40歳代の回収率が高いのが特



徴であり、共催展の趣旨や展示内容については概ね良い評価をいただいている。むしろ、厳しい注文については、資料館施設そのものや、資料館全体にかかわる点についての内容が多かった。

<来館者の住所(人)>

- |            |           |           |           |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| ・大磯町内 (41) | ・平塚市 (26) | ・横浜市 (11) | ・小田原市 (8) |
| ・茅ヶ崎市 (7)  | ・二宮町 (7)  | ・秦野市 (6)  | ・相模原市 (4) |
| ・藤沢市 (3)   | ・鎌倉市 (3)  | ・横須賀市 (2) | ・川崎市 (2)  |
| ・綾瀬市 (2)   | ・開成町 (1)  | ・箱根町 (1)  | ・厚木市 (1)  |
| ・伊勢原市 (1)  | ・大和市 (1)  | ・東京都 (10) | ・埼玉県 (2)  |
| ・茨城県 (2)   | ・不明 (15)  |           |           |

<来館回数(人)>

- |           |            |          |
|-----------|------------|----------|
| ・初めて (67) | ・2回以上 (79) | ・不明 (10) |
|-----------|------------|----------|

<年齢別>

- |             |              |              |             |
|-------------|--------------|--------------|-------------|
| ・1～9歳 (23)  | ・10～19歳 (26) | ・20～29歳 (10) | ・30～39歳 (9) |
| ・40～49歳 (9) | ・50～59歳 (13) | ・60～69歳 (17) | ・70～79歳 (9) |
| ・不明 (40)    |              |              |             |

<感想・意見(原文のまま)> ○=好意的意見 ▲=批判的意見 ◇=要望的意見

- 『『夜なべ仕事』『灯りの相性』の解説がおもしろく説得力のある見方だと思いました。』(5/2、小田原市、男性62歳、来館初)
- ◇ 「昔から、ランプなどに興味があり、今回この展示があることを聞いて見に来ました。個人的な感想としては、もう少し実際に灯がともった様子を見て見たかったのですが、展示自体は、素晴らしいと思いました。また、このような展示があれば、ぜひ見に来たいと思います。」(5/4、東京都、女性21歳、来館2回以上)
- 「こっとうひんとか、いろいろなものがいっぱいおいてあった。パパがすきそうなものばかりでした。とてもたのしかったです。またいきたいな。」(5/4、平塚市、女兒7歳、来館5回)
- 「ひうちいしがおもしろかった。てしよくがたのしかった。」(5/9、大磯町、男児6歳、来館2回以上)
- ▲ 「さすがの展示の量と質。ただし、たとえば浅利さんの名演技たる『火ウチ石』も、一(図略)一のようなセツメイが、あれば、なんと見て通るだけ、じゃないかと、アもつたいない。でも、まあ、『民具街道』へ行くからいい、というわけ？」(5/11、秦野市、不明、来館2回以上)
- 「“灯”は楽しく拝見しました。しかも無料です。大磯ってすごいなと思いました。鎌倉と比べて、可愛いひょうそく次回秋には又参りますので、その時に求めたいと思います。ついでに公園も落ち着いてよかったです。」(5/15、鎌倉市、女性70歳、来館初)
- ◇ 「全展示品の解説が欲しかった(抜けているもの多数あり)。遠州行灯と円周行灯はどちらが正しい?大変面白い企画展でした。」(5/27、相模原市、男性63歳、来館初)
- 「あかりの移り変わりが表でよくわかりました。他館とのネットワークはとても良い企画と思います。今後も色々めづらしい企画をお願いします。」(5/28、大磯町、女性62歳、来館20回)
- ▲ 「説明の字を倍位にして読み易いようにして。壁面陳列は暗くて説明が読みにくい。」(5/28、横須賀市、男性61歳、来館5回)
- 「新緑をみながら、またやって来ました。いつもいろいろなめづらしい展示をありがとうございます。今回の『灯』のテーマは、身近なものなので、子供も興味をとってもっていました。もっとたくさんの人にみてもらいたいです。」(5/29、茅ヶ崎市、女性40歳、来館10回)
- ▲ 「展示スペースがせまい。」(5/29、平塚市、男性37歳、来館5回)
- ◇ 「火を起す手段(火打石、舞錘り等)の実演、若くは小中学校の生徒に実験させる様な場所を作って見たら面白いと思ふ。」(5/29、大磯町、男性76歳、来館2回以上)
- ◇ 「立派な建物と展示物に驚きました。ただ館内の空気が悪いので、換気に気をつけていただけたらと思います。」(5/30、東京都、女性61歳、来館初)
- 「灯の文化がよく分かり、江戸時代から明治時代へ灯の変化に感動しました。そして江戸民具の技術がとてもすばらしいと思いました。」(6/4、大磯町、女兒11歳、来館約20回)
- 「灯火具の歴史が良くわかるすばらしい企画展です。江戸時代から大正時代にかけて、こんなに

も多く灯火具が使われていたことにあらためて感無量の思いです。各々の時代に用途に合わせて、工夫をこらした灯火具がつくられ、使いこなしていた人々の姿が思いしのばれるようです。現代の豊かな生活になれてしまった私達に灯火具の歴史をたどることによって、昔の人々の生活の知恵のすばらしさを学ぶよい機会だと思えます。貴重な灯火具の数々の展示物、企画展を見学させて頂きましてありがとうございました。展示期間中にもう一度見学させて頂こうと思っています。」(6/18、二宮町、男性68歳、来館30回以上)

- 「いろいろな古い物があって、いいべんきょうになりました。学校のじゅぎょうで新聞を作るのに使わせていただきました。」(6/23、大磯町、女兒9歳、来館10回以上)
- 「桜土手古墳館で頂いたチラシで開催を知りました。とても興味深い展示でした。編年や型そのものの分類、役割の違い等も理解出来て良かったです。『江戸民具街道』の方も近い内伺いたく思えます。今後の展示も楽しみに致しております。」(6/25、平塚市、女性35歳、来館5~6回)
- 「とっても感動した。卓上ランプが気に入ったので欲しくなった。ぜひもう一回来てみたいと思った。」(7/6、平塚市、女性18歳、来館3回)
- ▲ 「2館の共催という企みは面白い。今後いろいろな方法を考えられるとよろし。ところで大磯→江戸民具ということも考えているのだろうか？(ちょっといくのは不便にも思えますが)。灯火具の状態もよく、電灯以前のあかりについて基本的なところはおさえてある。ただ、解説を冒頭にまとめてしまったのは、理解の面で難があるし、展示にアクセントなくなってしまったようで残念。灯火具の地域性について何かほしかった。大磯ではどうだったのか？漁師町では、農家では、さらに時代を経て別荘では、いつ、何を使っていたか、というような内容をパネル1つでもいいので、あればよかったと思う。その有無の違いは案外大ですよ。この館らしさが出たと思うなあ。(後略)」(7/10、東京都、男性43歳、来館初)
- ▲ 「大磯駅で聞いてもわからず、観光案内所で聞いて下りたバス停からの目印もわかりにくく、着いたところで資料館への案内もなかったのも、私のように初めての人間には不自由でした。内部も常設と特別展示の場所がはっきり示されておらず。ただ、静かでゆっくり見れたのが幸いでした。一言、トイレの入口にロッカーがあるとは言え、女性トイレの中にフックがあっても良いのではと思いました。、又、何か興味のあるものの展示の折りは、ぜひ伺いたいと思います。ありがとうございました。」(7/24、横浜市、女性、来館初)
- 「なかなかすごいと思った。変なえいぞうがおもしろかった。とにかくスゴイと思いました。また来たいです。」(7/25、茨城県、女性15歳)
- 「私の家は江戸初期から400年近く続いています。途中何度も火災に逢い、先祖の遺物が殆どありません。先祖から伝承している民具を現実に見学することができて、うれしいひとときでした。」(7/29、横浜市、男性73歳、来館初)
- ◇ 「子どもでも分かるような文(説明)にしてほしい。昔の話がビデオで流れているのはいいと思う。自然のことなどもうすこし展示をふやしてほしい。」(8/5、平塚市、女兒11歳、来館初)
- ◇ 「これだけの企画にもっと人がきて欲しいと思う。もっともとの長さ、各学校など、小田原～藤沢位の範囲で宣伝しておけばと思う。そのさい江戸時代に深い教養のある人の解説があれば尚よい。こうしたものを無料でやっている大磯町に深い感謝と大きな心を感じる。人間を育てるのはこうした心と志であると思う。」(8/11、茅ヶ崎市、男性73歳、来館2回)
- 「“民”と“公”のコラボレーションによる『共催展』という試み、たいへん面白いと思います。“公”が“良”の情熱と努力の結晶を、展示テーマ『灯り』のように暖かく伝える営みに感じました(MUSEUMグッズの販売を含め)。今後の『スキルアップ』の成果を楽しみにしております。」(8/27、埼玉県、男性45歳、来館初)
- ◇ 「すばらしい灯火具をそろえていただいて大変参考になりました。できれば図録があればよかったと思います。リーフレットのさし絵を、展示の順に掲載していただければなおわかりやすいと思いました。ありがとうございました。」(7/27、埼玉県、女性50歳、来館初)
- ◇ 「体験できる物をもっとふやしてほしい。」(7/28、不明、女性13歳、来館初)

(担当) 佐川



## 「大磯 高麗山の植物」

期 間 平成 16 年 9 月 12 日 (日) ～ 10 月 31 日 (日)

開場日数 42 日間

会 場 企画展示室

出品点数 約 100 点

料 金 無料

入場者数 4,328 人

(趣旨) 大磯町の東端に位置する高麗山は、大磯駅からの距離も然程、遠くなく手頃な丘陵の散策地として親しまれている。自然観察の場としても四季を通じて山野の植物が見られ、植物愛好家の関心を集めている。年間を通して草本類を調査しているグループ、個人的にホームページ作成のために踏査されている人たちが日々、山道を往来している。

高麗山は辿ってきた歴史的背景から、南斜面と他の斜面では植物相が大きく異なる。南斜面は今なお自然植生が残され、学術的に貴重な自然林として県の天然記念物に指定されている。北側から東側にかけては太平洋戦争の戦後復旧作業のため樹木は伐採されてしまい現在では比較的新しい樹林が形成されている。また昭和 30 年頃はクロマツが優占する樹林であったようだが、昭和 50 年頃、モミ、スギ、サワラなどの針葉樹とともに枯れてしまい、現在ではタブノキ、スダジイなどの常緑広葉樹が広がっている。こうした高麗山の植生遷移の状況を古写真を通して紹介する。あわせて四季の草花、樹林を構成する樹木などを生態写真・標本等を通して紹介し、現植生の周知化を図るとともに県民の森として愛着を深めていただく。

(内容) 本展では「高麗山の樹木」、「高麗山の草花」、「高麗山のシダ植物」、「高麗山 四季の移り変わり」、「高麗山の植生の推移」の 5 つの小テーマで展示を構成した。展示資料は植物標本と生態写真が中心であり、特に本展では個々の植物の形態的特徴を捉え、印象付けられるように解説文に力を注いだ。

### i) 「高麗山の樹木」

当館所蔵の植物標本と解説文で展示を構成。現在高麗山で確認されている植物 24 種と高麗山が基準産地となっているケハイザクラ 1 種を紹介した。解説は個々の植物の見分け方や植物の有用性について特記した。

### ii) 「高麗山の草花」

生態写真と解説文で構成。散策した際、比較的目に付きやすい 46 種を抽出し、紹介した。解説は薬用・食用等の有用性について特記した。本コーナーは当館の講座「草と木の調査」に参加されている石井竹夫氏に生態写真の提供や解説文の執筆等のご協力いただいた。

### iii) 「高麗山のシダ植物」

当館所蔵の植物標本と解説文で展示を構成。高麗山で現在、比較的よく確認できる 13 種を紹介した。解説は個々の植物の見分け方を中心にまとめたが、シダの特有の専門用語が多くなり、分かりづらくなった感は否めない。今後の課題としたい。

### iv) 「高麗山 四季の移り変わり」

高麗山を同じ場所から撮影した写真を用い、四季の移り変わりの様子を紹介した。

### v) 「高麗山の植生の推移」

明治、大正、昭和、平成それぞれの時代の高麗山の様子を写真を通して紹介した。

(担当) 北水



## 「合併 50 周年記念写真展」

期 間 平成 16 年 11 月 14 日（日）～ 平成 17 年 1 月 16 日（日）

開場日数 48 日間

会 場 企画展示室

出品点数 約 90 点

料 金 無料

入場者数 4,404 人

（趣旨）平成 16（2004）年は、昭和 29（1954）年に町村合併促進法に伴い旧大磯町と旧国府町が合併し、現在の大磯町が誕生してから 50 年を迎える年であった。星霜を重ねた 50 年という区切りの年を迎え、合併当時の風景や以後の町の移り変わりを示す写真資料を紹介することを主眼とした。展示資料については、町所蔵写真の他、個人の方が撮影・所蔵されている写真資料についても町広報紙により情報提供を呼びかけ、展示を構成した。

（内容）今回の展示では、昭和 29（1954）年を基点として現今にいたるまでの編年を基調として事象や風景などを紹介している。展示構成について概観する。

会場である企画展示室を右回りの順路とした。展示資料は基本的に年順に配置した。入口左側のカウンター上に印刷物等配布資料を設置し、左壁面には「合併 50 年大磯町のあゆみ 1954～2004」と題する年表（註 1）をパネル化して掲げた。また同壁面には合併以前の風景として昭和 22（1947）年撮影の航空写真パネル（既存資料）を掲げた。本資料は展示資料中、多く衆目を引く様子が看取された。入口正面壁面には「合併までの主な経緯」として経過を示す当時の町広報紙等をパネル化して掲げた。

企画展示室奥のガラスケース内には、先ず合併に関わる文書資料の簿冊の現物資料の他、パネル化した新聞記事、同年撮影の航空写真を配した。ケース中央からは合併後、翌昭和 30（1955）年 1 月 22・30 日に挙行された合併祝賀会の風景写真を展示した。祝賀会の風景写真原板はリバーサル・カラーによるスライドであり、題材としては海水浴場、大磯ロングビーチ、「大磯カーニバル」（註 2）、東京オリンピックなどのほか、市井の風景等が挙げられる。

尚、企画展示室内におけるガラスケース内の写真は観覧者からの距離が遠いことから、原則木製の写真パネルを用い質感を持たせるべく留意した。さらにガラスケース脇の壁面には昭和 40 年代の事象を紹介した。

企画展示室中央の昇降台の箇所は、周囲を組立式の展示板で囲い写真パネルを配する構造とした。中央展示版の写真は個人の方が長年にわたって撮り貯めた資料が中心となった。時期は昭和 50（1975）年～平成 15（2003）年までである。題材としては、海水浴、祭礼の他、日常の市井の風景等多岐にわたる写真を紹介することが出来た。最新の平成 15（2003）年のパネル脇の展示板は空白とした。空白部分はスポットライトの影部分として展示全体の溶暗（fade-out）を意図したライティングとした。

露出した写真パネルは観覧者との距離も近く、また組立式展示板の耐荷重が低いことから軽量のパネルを用いて展示を構成した。尚、昇降台は展示台としてではなく、段差を付け、座布団を置き腰掛として使用した。腰掛を利用して見学する観覧者も看取された。出口脇の壁面には、順路前半に掲げた昭和 22（1947）年撮影航空写真の対比資料として平成元（1989）年撮影の航空写真（既存資料）を掲げた。

展示期間については合併の日である 12 月 1 日を挟んで設定した。

註：1 大磯町史編さん近代部会作成

2 昭和 29（1954）年～35（1960）年まで毎年開催された。

（担当） 国見



東京家政学院生活文化博物館・大磯町郷土資料館共催展

「日本人形の姿と形―節句飾りを絵解きする―」

期 間 東京家政学院生活文化博物館会場：平成16年10月8日（金）～ 11月14日（日）

大磯町郷土資料館会場：平成17年2月6日（日）～ 5月8日（日）

<大磯町郷土資料館会場>

開場日数 76日間

会 場 企画展示室、休憩室

出品点数 約400点

料 金 無料

入場者数 8,707人

（趣旨）近年、博物館をめぐる環境が大きく変化するなかで、地域博物館のあり方を考える一環として進めた企画。博物館同士のネットワークを視野に入れた活動であり、本年度第1回企画展として実施した江戸民具街道との共催展の教訓を活かしながら、大学博物館との共催展を実施する。また、(株)久月、ならびに久月人形学院からご協力をいただきながら、「産学官」による協働作業を行なうことを試みる。

（内容）当館では、隔年ごとに雛人形展を開催しているが、今回はより発展的な視点を盛り込んだ内容となった。伝統的な日本人形の姿や、節句飾りをあらためて見直すことにより、そこに込められた人々の気持ちや願いといった日本文化の精神世界をとらえる契機として、いくつかのテーマを設定して展示した。「五つの節句」「雛段をかざる人形」「端午の節句」「人形の技術」というテーマのもと、古文献により、随所に雛祭りや端午の節句、あるいは雛市などの絵解きを挿入して構成した。特に、東京家政学院大学附属図書館において所蔵されている「大江文庫」のなかから、数々の貴重本を拝借し、展示することができたのは幸いであった。ただし、先行して展示を開催した東京家政学院生活文化博物館と当館の企画展示室とでは、展示面積や展示ケースなどの設備の面で異なる部分が多く、完全な巡回展としてはいえない状況であり、大磯会場では大幅に資料や展示構成を再検討しなければならなかった。しかし、結果的には、そのことが大磯の地域性へとつながったようであり、特徴のある展示となったものと考えている。もし、双方の展示を見た観覧者がおられれば、巡回展とはいえ、随分と異なる印象を持たれたに違いない。なお、今回は端午の節句人形を大きく取り入れているため、2月から5月までと展示期間が長期にわたることとなった。したがって、一部の資料は期間中に展示替を要するものもあり、資料保護の見地からは若干の問題が残った。また、今回は、休憩室にビデオ機器とモニターを設置し、東京家政学院生活文化博物館から借用した日本人形に関連したビデオテープを視聴できるように設定した。

ところで、展示にかかわる刊行物としては、チラシ、ポスター、図録を刊行した。特に図録については、双方の博物館職員、大学教員、(株)久月、久月人形学院の担当者らが分担執筆を行ない、先行して展示を開催する東京家政学院生活文化博物館において編集し、チラシやポスターとともに発注がなされている。したがって、予算的な裏づけが乏しく、単独では図録の印刷は不可能である当館では、大磯会場での開催に合わせてチラシと図録を増刷として作成することで、印刷費を確保することができた。ただし、予算上、ポスターの印刷はかなわなかった。ただし、大学博物館と地域博物館それぞれのネットワークの特徴を活かしてのチラシやポスターによるPRは大きな力になったものと思われる。

なお、期間中に、久月人形学院のご協力をいただき、体験講座<木目込み人形作り>を開催した。



<展示資料一覧（大磯町郷土資料館会場）>

No.	資料名	数量	所蔵者	備考
1	こけし	1	個人	日本
2	ブリキの人形	2	個人	日本
3	キャラクター人形	31	個人	日本
4	キャラクター人形	6	個人	日本
5	ぬいぐるみ	2	個人	日本
6	ぬいぐるみ	1	個人	日本
7	リカちゃん人形	3	個人	日本
8	抱き人形	1	個人	日本
9	キューピー人形	2	個人	日本
10	木彫人形	1	個人	日本
11	貝細工人形	1	個人	日本
12	郷土人形	5	個人	日本
13	土偶	1	個人	日本、複製
14	埴輪	1	個人	日本、複製
15	マトリョーシカ	1組	個人	ロシア
16	民族人形	13	個人	スペイン
17	民族人形	1	個人	オランダ
18	木彫人形	1	個人	ベトナム
19	木彫人形	3	個人	インド
20	木彫人形	1	個人	ケニア
21	わら人形	1	個人	ロシア
22	あやつり人形	1	個人	ミャンマー
23	あやつり人形	2	個人	インドネシア
24	魔法使いの人形	1	個人	スウェーデン
25	人形（ひとがた）	1	個人	湯殿山神社
26	人形（ひとがた）	1	東京家政学院生活文化博物館	湯殿山神社
27	人形（ひとがた）	1	東京家政学院生活文化博物館	寒川神社
28	形代（かたしろ）	2	当館	六所神社、平成16年
29	流し雛	2	東京家政学院生活文化博物館	鳥取県用瀬町、平成16年
30	フナダマサマ	1組	当館	神奈川県三浦市、平成4年
31	フナダマサマ	1組	当館	神奈川県大磯町
32	這子	1	当館	明治時代
33	這子	1	当館	当館作製
34	オボコ	2	個人	山梨県巨早川町、昭和55年
35	押し絵雛	4	江戸民具街道	長野県松本市、明治時代
36	立ち雛	1組	個人	江戸時代
37	サルンボ	8	大磯御船祭保存会	昭和50年代
38	サルの人形	1	大磯御船祭保存会	明治時代
39	泥人形	5	江戸民具街道	明治～大正時代
40	随神	1組	大磯町南本町	江戸時代
41	御所人形	2	当館	明治時代
42	衣裳人形	1	平塚市博物館	江戸時代
43	張子人形	1	江戸民具街道	昭和初期
44	張子人形	1	当館	明治時代
45	張子人形	4	東京家政学院生活文化博物館	平成16年
46	雛段飾り	1式	個人	明治36年
47	享保雛	7	平塚市博物館	江戸時代

48	雛段飾り	1式	当館	昭和15年
49	御殿飾り	1式	当館	昭和29年
50	市松人形	1	当館	昭和35年
51	抱き人形	2	当館	明治～大正時代
52	応神天皇と従者	1組	当館	明治30年
53	鐘馗	1	当館	昭和初期
54	神武天皇	1	当館	昭和18年
55	天神	7	当館	明治時代
56	五月人形	9	当館	明治時代
57	ザンザラ	1	個人	神奈川県大磯町、昭和40年代
58	髻籠	1	東京家政学院生活文化博物館	茨城県水戸市、平成16年
59	幟	2	東京家政学院生活文化博物館	平成16年
60	内幟	1式	当館	昭和18年
61	鯉幟	1式	当館	昭和50年代
62	人形の衣裳布	40	東京家政学院生活文化博物館	平成16年
63	木目込み人形	1式	東京家政学院生活文化博物館	製作工程一式、平成16年
64	市松人形	1式	東京家政学院生活文化博物館	製作工程一式、平成16年
65	『女風俗玉鏡』	2	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、享保17年
66	『諸国図会年中行事大成』	2	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、文化8年
67	『女用訓蒙図彙』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、元禄元年
68	『雛あそびの記・貝合の記』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、寛延2年
69	『本朝歳時記故実』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、延享3年
70	『女一代風俗絵本十寸鏡』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、延享5年
71	『日本歳時記』	4	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、貞享5年
72	『江戸名所図会』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、天保7年
73	『東都歳時記』	1	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、明治26年
74	『育兒上の縁喜に関する玩具図譜』	8	東京家政学院大学附属図書館	大江文庫、昭和4～6年

\*パネル類を除く

なお、期間中に展示室に設置しておいたアンケート用紙は、最終的に93枚回収することができた。アンケートには回答者の住所、来館回数、年齢、性別と、展示の感想や意見を自由に記載していただく欄を設けている。総入館者数からすれば、アンケート回収率は、わずか1パーセント余りに過ぎないため、全体的な傾向とするには無理がある。しかし、観覧者による展示評価として真摯に受けとめるべき意見も少なくない。ここでは基本的事項の集計と、若干の感想や意見を紹介しておきたい。

<来館者の住所(人)>

・大磯町内(33)    ・平塚市(19)    ・二宮町(6)    ・茅ヶ崎市(4)    ・藤沢市(3)  
 ・横浜市(2)    ・横須賀市(2)    ・川崎市(2)    ・城山町(2)    ・小田原市(1)  
 ・綾瀬市(1)    ・厚木市(1)    ・大和市(1)    ・逗子市(1)    ・東京都(5)  
 ・埼玉県(1)    ・千葉県(1)    ・静岡県(1)    ・愛知県(1)    ・不明(6)

<来館回数(回)>

・初めて(40)    ・2回(12)    ・3回以上(41)

<年齢別>

・1～9歳(7)    ・10～19歳(21)    ・20～29歳(5)    ・30～39歳(8)    ・40～49歳(1)  
 ・50～59歳(10)    ・60～69歳(13)    ・70～79歳(8)    ・不明(20)

<感想・意見(原文のまま)> ○=好意的意見 ▲=批判的意見 ◇=要望的意見

○ 「大変なつかしい昔のひなまつり等、展示を拝見びっくりしました。昔の大磯町及周辺の生活状況の一部が見られる様です。大切な宝ものだと思います。3月の節句を前に家族、孫達にも見せたいと思っております。どうもありがとうございます。」(2/10、二宮町、男性75歳、来館

10回)

- 「丁度自宅でもひな人形を飾ったばかりだったので、飾り方やお人形の細かい所めで興味深く見せて頂きました。何度かこちらの公園には来ていたのですが会館に入ったのは初めてでした。」(2/12、藤沢市、女性31歳、来館初)
- 「城山公園散歩から入館した出会いの観覧でしたが、大変丁寧な説明と館内の落ち着き、設計のセンスの良さに、良い思いを致しました。私のひな人形は祖母から代々伝えられた思い出が多く、江戸の華やかさを感じていましたが、ここの資料館の説明で納得できました。あらためて我家の人形を大切に、又、子供に伝えてゆく思いが厚くなりました。」(2/19、大磯町、女性61歳、来館初)
- ◇ 「たいへん良いものを拝見させて頂きました。保存に力を入れて下さい。」(2/25、大磯町、男性60歳、来館初)
- ▲ 「国府についてもっと知りたかったです。学芸員の方はどこに？ 特に表記されていなかったようですが、レプリカはなかったんですね？」(2/27、藤沢市、女性24歳、来館初)
- ▲ 「もうすこしたくさんあるとより良いと思います。前に来た時とあまり変化がないようです。」(2/27、平塚市、女性58歳、来館5~6回)
- 「展示の仕方がよかったです。来るたびに、いろいろな展示がされているので楽しみです。」(2/27、東京都・大磯町、女性20歳・55歳、来館3回以上)
- 「限られた展示スペース精一杯活用されて、工夫された展示をされていたと思います。展示品の説明も簡潔明瞭にまとめられており適切であると思われます。身近な郷土にまつわる人形から世界各地の人形まで色々な切り口が紹介されており、誰でも無理なく楽しめる企画であったと思います。貴館のますますの発展をお祈り致します。」(3/6、二宮町、男性30歳、来館20回)
- ▲ 「幟展示の後方の家政学院の校章が上下逆になっておりました。」(3/6、藤沢市、女性、来館2回)
- 「資料充実しており、展示も過去だけでなく現在とクロスさせることでふくらみがでており大変よかったです。」(3/6、大磯町、不明、来館初)
- 「人形の一つ一つの形がとてもきれいでした。人形のふくもていねいにできていてとてもすばらしくまた来たいと思いました。」(3/8、大磯町、女兒10歳、来館初)
- 「人形のいろいろたのしませて頂きました。主人の(昭和13年生)五月人形と息子(昭和47年生)の人形といっしょにかざっていましたが、今は押入に入ったままです。日の目をあててやりたいと考えさせられました。ありがとうございます。」(3/8、平塚市、女性58歳、来館初)
- 「毎年おひな様になると見に来るのが楽しみです。3/3はとっくに過ぎて居るけれど来て見たらだれも居なくて何かもったいない感じ。ゆっくり見せて頂きました。まほう使いがほうきに乗って居るのまであり、おもしろかったです。私達が育つ時、おひな様等なかなか無かったので本当に嬉しく見せて頂きました。ありがとうございます。」(3/10、大磯町、女性70歳、来館3回以上)
- 「私は人形はあまりきょうみがなかったけど、人形がかざってあるのを見て、いろいろな人形があるんだなあと思いました。」(3/15、大磯町、女兒10歳、来館約10回)
- ▲ 「たのしかった。おもしろかった。ひなまつりの3人むすめのじゅんばんちがいます。まゆげのない人がまん中ですよー。」(3/15、大磯町、不明、来館2回)
- ◇ 「二丁金三丁金の説明が欲しい」(3/16、神奈川県内、男性・女性、来館3回以上)
- ◇ 「ひなの写真に見いました(カベにはっている数々)。鎌倉の国宝館の様に数枚絵はがきにセットになさって販売をして下さればと思いました。」(3/19、大磯町、女性60歳、来館5回)
- ▲ 「5年前とあまり物や資料・展示が変わってない。」(3/21、大磯町、男性14歳、来館3回以上)
- ◇ 「この開催を、もっと広く知らせて、多くの人々に見てもらった方がよい。いつも閑散としていて、おいしい。せっかく税金を使って、文化財の管理をしているのだから、館の活用についても活発な意見交換を行い、職員の町民への大いなる働きを望む。人形展についてはがんばったと思います。」(3/27、大磯町、男性60歳、来館3回以上)
- 「昨年、物置を解体した所、私のひな人形が出て来ました(昭和26年購入)。てっきり虫くいなど相当ひどいと思いましたが、人形・御殿など良い状態でしたので今年娘のと一緒に15人どころか30人になりましてとても圧巻でした。偶然、読売新聞を見まして今日こちらに来ました。

最後に飾ったのが昭和 37 年位であり、母が亡くなってしまったので御殿などは組立て方が分らず大変でしたがとても嬉しかったです。又、兄の五月人形も出て来ましたので、こちらも今年飾ります（昭和 9 年購入）。今日は良い物を見させて頂きありがとうございました。」（3/27、逗子市、女性 55 歳、来館初）

- 「きれいでした。むかしのひなにんぎょうは、いまよりきれいでした。つるしびなもながかったです。ほうこの赤ちゃんもかわいかったです。大人はなんて名まえかわかりませんでした。また、きたいです。たのしかったです。」（3/29、東京都、女兒 7 才、来館初）
- 「懐かしい展示品に興味を深く致しました。小さいころに見た光景、手にした人形のことを思い出し乍ら心地よい時をすごさせて頂きました。館内入口でみたひな段飾り、私宅で都合で一月に七段飾りをしたことも、今日につながる良い思い出となりました。人形を作りたいと思い思い生活をしていますので、少しでも縫うことが出来るならと新たな意欲を抱きました。どうもありがとうございました。4/3 正午 12:15 娘と共に」（4/3、平塚市、女性 62 歳、来館初）
- 「リカちゃん人形やアトムがありおもしろかったです。よく昔のものがこっていますね。とてもたのしかったので、また、このきかくをやってください。」（4/6、大磯町、女兒 10 歳、来館初）
- ◇ 「楽しく拝見させて頂きました。当時の貴重なお人形が大事に保管されているのに驚きました。入口付近のパネルのところに解説文があるとわかりやすくよかったですかと思いました。」（4/8、平塚市、女性 51 歳、来館 2 回）
- 「3 年前に東京の品川から引越して来ました。このレベルの展示を無料で見せているのは驚きです。藤村の旧居もそうですが、大磯は文化に力を入れていて良いですね。」（4/9、大磯町、男性 42 歳、来館初）
- ◇ 「はば広い世代で一緒に見られて良いと思います。いろんな時代によって作り方が違っていてその時代の味が出ていて楽しいと思います。大磯の昔の事も知りたいので、昔と今の違いも展示をやっても楽しいと思っています。」（4/9、大磯町、女性 23 歳、来館 3 回以上）
- ◇ 「もっと宣伝して下さい。展示してやっている日程とか内容をしらせて下さい。」（4/10、茅ヶ崎市、女性、来館初）
- 「すばらしい企画展を見ることが出来て、本当によかったと思います。改めて人形の有する多様性を理解することが出来ました。そして人形というものが人間にとってどんなものなのか、自分自身で考へてみることにします。ただ単に子供のおもちゃとか床の間の飾り物として見過すことは出来ないものだと思います。本当に有りがとうございました。これからもよい企画展を開いて下さい。」（4/24、二宮町、男性 72 歳、来館 3 回以上）
- ◇ 「各種の伝統を残しましょう。」（4/24、大磯町、男性 65 歳、来館 2 回）
- ▲ 「興味本位でなく出展者の真面目さを感じました。ただ出展物が片寄りすぎている感じもします。」（4/30、大磯町、女性 65 歳、来館初）
- 「ひな祭りはいろいろあるのは知っていたが、端午の節句の人形がこんなにあるとは初めて知りました。一つ勉強になりました。」（5/4、小田原市、女性 39 歳、来館初）
- 「おもしろかったです。彼が大磯の人なので、とても行きたがっていたのでつれてこられました。」（5/5、平塚市、女性 26 歳、来館初）

（担当）佐川

## ■学級・講座

### <民俗に親しむ会>

日 時 平成 16 年 4 月 4 日（日）・10 日（土）・11 日（日）・13 日（火）、18 日（日）

場 所 当館研修室、企画展示室

参加者 延 19 人

（内容）平成 11 年度から継続している講座で、資料館の民俗資料整理を通して、地域の文化伝承に関わりを持つとともに、地域の方々がお持ちの情報や知識を提供していただくことによって、資料を活き返らせ、さまざまな活用の可能性を広げることを目的として進めてきた。

活動内容は、平成 11 年度から衣類資料の整理を行ってきたが、平成 15 年度には、活動の成果を

多くの方々に還元するために企画展を行なうことを念頭においた活動を展開した。会活動の総括として、また、会メンバーと館との協働作業として位置付け、企画展の企画、準備をはじめ、ギャラリートークについてもメンバーが積極的に関与し進めてきた。平成16年度の活動は、企画展におけるギャラリートークと、展示の片付け作業である。

なお、5年間の活動によって、当初の目的は概ね達成することができたことから、総括としての企画展の終了をもって、会活動をとりあえず終了することとした。最後に反省会および慰労会を開催し会を解散した。資料館と参加者との情報の共有やコミュニケーションを図るために刊行し続けてきた「民俗に親しむ会通信」についても、No.55をもって終刊とした。

なお、会の有志により、引き続いて博物館資料の整理に協力をしたいとの意向を受け、新たに「古文書裏打ちの会」の立ち上げを目指すこととなった。

(民俗に親しむ会参加者)

新見由美子、青木ひさ子、西山縫子、平田浩子、藤田輝子、佐々木佳子、渡辺富子、北谷澄子、  
鶴飼レイ子、渡辺京子、中村知子

(担当) 佐川



#### <草と木の調査>

日 時 平成16年4月24日(土)、5月8日(土)・22日(土)、6月12日(土)・26日(土)、  
7月10日(土)・24日(土)、8月7日(土)・28日(土)、9月25日(土)、10月23日(土)、  
11月13日(土)・27日(土)、12月11日(土)、  
平成17年1月22日(土)、2月12日(土)・26日(土)、3月12日(土)・26日(土)

場 所 当館研修室、町内

参加者 延237人

(内容) 本講座は平成11年度から実施している。植物の調査を通して、植物に関する知識を深めるとともに身近な自然に親しむことを目的に始めたもので、11・12年度は第1次調査として「秋の植物の分布調査」、13年度からは第2次調査として「県立大磯城山公園の植物調査」を実施している。第2次調査の4年目にあたる本年度は第2・第4土曜日を中心に年20回の予定を組み、花ごよみ調査を月1回のペースで12回、樹木の観察・調査を6回、他館の特別展見学を1回、文化財講座の聴講を1回行った。



前年度末に今後の展開(本講座で進むべき方向性)について話し合いを持ち、その中でi) 調査報告書の作成、ii) 園内樹木の名札付け、iii) 「城山公園 四季の植物」ホームページ開設、iv) 城山公園のガイドブックの作成の4点の意見が出た。これらの意見を受け、前年度に引き続き花ごよみ調査を続けながら、上記4点の実施に向けた取り組みを行った。その中でも特に園内樹木の名札付けに重点をおき、現在の名札の設置状況調査、同園の樹木台帳で未整理区域(樹木の植栽を施さずその土地本来の樹林を活かした区域)の主要樹木分布図と主要樹木目録の作成なども行った。限られた時間の中での作業であり、実際に名札を付ける段階まで至らなかったが、次年度以降も引き続き、実現に向けた作業を進めていきたい。

(担当) 北水



### <古文書裏打ちの会>

日 時 平成16年9月18日(土)、10月16日(土)、12月18日(土)、  
平成17年1月15日(土)、2月19日(土)、3月16日(土)

場 所 当館研修室

講 師 鶴飼レイ子氏、後藤ひろ子氏、中村ふぢ氏、吉原悦子氏

参加者 延79人

(内容) 裏打ちの技術を学びながら、郷土資料館で所蔵する古文書の裏打ちを行なうワークショップである。本講座は、平成11年度に設立し、平成16年度まで活動を継続してきた「民俗に親しむ会」の参加者の発案によって進められたものであり、分野は異なるものの、博物館資料の整理という、ボランティア的な性格をもった活動として位置付けている。したがって、本講座も単年度の活動ではなく、経年的に参加していただくことを条件としている。募集については、往復ハガキによる申し込みとした。

「民俗に親しむ会」の有志を基盤として、新たに10名の参加者を募集したところ、定員の2倍にあたる20名の応募があった。厳正な抽選のもとで10名を選抜し、有志4名と併せて14名で発足した。なお、今後、退会者が出た場合に追加会員を募集する予定である。また、技術指導については、平塚市博物館の「裏打ちの会」で活動されている4名の方にボランティア講師としてお願いした。

(担当) 佐川



### <海の教室>

日 時 ①平成16年12月19日(日) ②平成17年3月6日(日)

場 所 大磯町内、当館研修室

参加者 28人

(内容) 平成12年度から継続している講座で、地域博物館の可能性を求め、分野にこだわらずに生の地域資料を利用しながら新しい学問領域の提示を念頭におくことを目的としている。「海」をメインテーマに、長いスパンで継年的に取り組む。海を知るためには海ばかりをみていたのでは十分でないことを認識しながら、海という素材に対して可能な限りさまざまな視点からアプローチしようという試みである。本年度は漂着物を使ったキャンドルづくりを1回、ビーチコーミングを1回実施した。

① 漂着物を使ったキャンドルづくり(場所/郷土資料館研修室、参加者/22人)

講師/美甘麻里子氏

② ビーチコーミング(場所/大磯照ヶ崎海岸、参加者/6人)

キャンドルづくりは、貝、ビーチグラス、流木などの漂着物を使って、クリスマスキャンドルを作ろうというものである。平成15年度に初めて実施したが、たいへん好評につき、引き続いて今年度も企画した。材料の準備や作業場所の制約から、20人の申し込み制としたが、申し込み開始日即日に満員となった。なお、申し込み者全員の参加があった。小学校3年生以下の子どもたちには保護者の同伴をお願いしたこともあり、親子の参加が目立った。

(担当) 佐川、北水



<「布と着物」展ギャラリートーク>

日 時 平成16年4月4日(日)・10日(土)・11日(日)

会 場 企画展示室

講 師 鶉飼レイ子氏、北谷澄子氏、中村知子氏、西山縫子氏、新見由美子氏、平田浩子氏、  
藤田輝子氏、渡辺富子氏、渡辺京子氏(以上「民俗に親しむ会」)

(内容) 「民俗に親しむ会」活動の一環として、企画展「布と着物—縫う・繕う・着る・装う・楽しむ」の関連事業に位置付けて行なった。平成15年度の事業であるが、年度をまたいで実施したものである。詳細は平成15年度の年報において報告しているので参照願いたい。

(担当) 佐川

<「灯」展ギャラリートーク>

日 時 平成16年5月5日(祝)・9日(日)、7月18日(日)・25日(日)

会 場 企画展示室

講 師 江戸民具街道館長 秋澤達雄氏、同学芸員 秋澤理香氏

(内容) 江戸民具街道との共催展「灯」の関連事業の一環として、江戸民具街道館長ならびに学芸員によるギャラリートークを行なった。内容は展示資料の解説をはじめ、一部の灯火具の実演などである。特に、企画展示室の照明をおとし、乗燭や手燭などの灯火の明るさ(暗さ)を体感してもらうというプログラムを用意したため、子どもだけでなく、大人にも概ね好評であった。なお、定期的な時間を決めて実施するのではなく、展示室内の参観者の状況をみながら、必要に応じて随時行なう方法をとった。1回の解説・実演時間は15分程度で、1日平均9回。4日間で合計36回のギャラリートークを実施した。

(担当) 佐川



<体験講座「木目込み人形作り」>

日 時 平成17年3月13日(日)

会 場 当館研修室

講 師 久月人形学院 今野博氏、伊藤典子氏

参加者 16人

(内容) 東京家政学院生活文化博物館との共催展「日本人形の姿と形—節句飾りを絵解きする—」の関連事業として開催した。共催展において特別協力をいただいている久月人形学院のご協力を得て、木目込み人形作りを実施することで、日本の伝統文化や技術について興味を抱いてもらう契機となることを期待した。募集は電話にて先着20名とした。初心者用の教材としたため、対象年齢に制限は設けなかったが、小学校低学年の場合は保護者同伴とした。なお、参加者からは材料費の一部を負担していただいた。ところで、この企画は共催の東京家政学院生活文化博物館会場においても既に先行して実施していたため、あらかじめ参加者の作業状況を見聞することができた。初心者用の教材を使用していたものの、完成までかなりの時間を要していたため、当館では教材を再検討するとともに、作業時間の配分を考慮して13時~16時を確保した。それにより、各人の作業進行具合には若干の差がでたものの、概ね時間内に完成させることができた。

(担当) 佐川



## ■刊行物

### <図録、冊子>

- ・『Report—大磯町郷土資料館だより』25 B5版 8頁 800部 (平成16年11月刊)
- ・『日本人形の姿と形—節句飾りを絵解きする—』(共催展・大磯分) A4版 9頁 700部 (平成16年2月刊)
- ・『年報—平成15年度—』 A4版 40頁 500部 (平成17年3月刊)
- ・資料館資料9『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗(生活)資料—食—』 A4版 40頁 500部 (平成17年3月刊)

### <チラシ、パンフレット>

- ・共催展パンフレット『灯』 A4版 — 4,000部 (平成16年5月刊)
- ・企画展チラシ『大磯 高麗山の植物』 A4版 — 2,000部 (平成16年10月刊)
- ・企画展チラシ『合併50周年記写真展』 A4版 — 3,000部 (平成16年11月刊)
- ・共催展チラシ『日本人形の姿と形—節句飾りを絵解きする—』(共催展・大磯分) A4版 — 4,000部 (平成17年2月刊)

### <その他>

- ・講座通信『草と木の調査』 A4版 4~8頁 コピー対応 (年間・随時)
- ・講座通信『民俗に親しむ会』No.55 A4版 6頁 コピー対応 (平成16年5月刊)
- ・常設展リーフレット『別荘のある風景』 A4版 4頁 2,000部 (平成16年10月刊)

## ■調査・研究・普及

### <館内外の活動>

- ・博物館資料調査/年間/大磯町内外(佐川、國見、北水)
- ・神奈川県博物館協会役員会出席/年間/神奈川県立歴史博物館(武藤)
- ・神奈川県博物館協会合同部会、編集委員会、研修会出席/年間/神奈川県立歴史博物館ほか(北水)
- ・神奈川県博物館協会50周年記念事業実行委員会出席/年間/神奈川県立歴史博物館ほか(國見)
- ・東京家政学院博物館実習講義/年間/東京家政学院(佐川)
- ・駒澤大学博物館実習講義/年間/駒澤大学(國見)
- ・大磯町教育研究所特別研究部会「大磯の自然に関する調査・研究部会」講義/4月20日、5月11日、6月2日、7月2日・27日、9月3日、10月6日、11月2日、12月3日、平成17年1月14日、2月2日、3月4日/教育研究所ほか(北水)
- ・日本民具学会理事会出席/4月25日、8月1日、10月10日/成城大学(佐川)
- ・大磯町教育研究所「大磯の自然に関する調査・研究部会」野外観察会指導/5月2日・30日、7月11日、9月19日、平成17年3月5日/大磯町内(北水)
- ・相模民俗学会出席/5月16日、11月21日、平成17年1月16日/神奈川県立歴史博物館(佐川)
- ・大磯町新採用職員研修会講義/5月19日/館内(武藤、佐川)
- ・日本考古学会総会出席/5月22日・23日/千葉大学(國見)
- ・桜美林大学博物館学講座見学実習講義/5月29日/館内(國見)
- ・国府学童保育会「開校記念日スペシャルイベント」指導/6月4日/岩田記念館ほか(佐川、北水)
- ・近代国際陶磁研究会出席/6月6日/愛知県陶磁資料館(國見)
- ・大磯町立国府小学校3年生総合学習講義/6月15日/国府小学校(佐川)
- ・大磯町立国府小学校3年生総合学習講義/6月23日/館内(佐川、北水)
- ・駒澤大学博物館学講座見学実習講義/6月27日/館内(國見)
- ・境川流域歴史民俗共同調査/7月3日/相模原市立博物館(佐川)
- ・神奈川大学博物館学講座見学実習講義/7月10日/館内(佐川)
- ・相模民俗学会見学会案内/7月18日/大磯町内、館内(佐川)
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然散策」指導/8月20日/照ヶ崎海岸(北水)
- ・生涯学習課「ファミリー教室」講義/10月13日/大磯町保健センター(佐川)
- ・大磯町立国府小学校4年生社会科講義/10月29日/国府小学校(佐川)

- ・生涯学習課「ガイドボランティア養成講座」講義／11月5日・12日、12月3日／館内、大磯町生涯学習館（北水、佐川、國見）
- ・生涯学習課「自然体験教室 冬」講義／12月4日／大磯町生涯学習館（北水）
- ・九州近世陶磁学会出席／2月11日・12日・13日／佐賀県立九州陶磁文化館（國見）
- ・神奈川県民俗芸能緊急調査／2月13日・20日／山北町ほか（佐川）
- ・大磯町立大磯小学校3年生総合学習／2月18日／大磯小学校（北水）
- ・東海大学博物館実習講義／2月18日・21日・22日／東海大学（佐川）
- ・関東民具研究会出席／2月20日／神奈川県立歴史博物館（佐川）

#### <施設・展示解説>

- ・月京自治会／4月25日／40人（國見）
- ・大磯町学校職員新採用研修会／5月18日／5人（佐川）
- ・大磯町広報子ども編集委員／5月30日／6人（佐川）
- ・日経旅行ツアー／5月30日／35人（佐川）
- ・照明文化研究会／6月22日／20人（佐川）
- ・大磯町立国府小学校6年3組／6月23日／5人（國見）
- ・県政モニターOB会／7月30日／30人（佐川）
- ・真鶴町教員新採用研修会／8月17日／2人（北水）
- ・NHK文化センター静岡教室／8月20日／20人（北水）
- ・大井町文化財保護委員会／8月24日／7人（武藤、北水）
- ・足柄史談会／9月28日／45人（佐川）
- ・まきば幼稚園／10月6日／30人（佐川）
- ・生沢自治会／10月17日／57人（國見）
- ・大磯町立大磯小学校2年生／10月27日／135人（北水）
- ・日経旅行ツアー／10月29日／25人（佐川）
- ・文教歴史散歩宮村会／11月11日／25人（佐川）
- ・神奈川県立歴史博物館ボランティアグループ／11月21日／10人（北水）
- ・悠々会／12月8日／30人（佐川）
- ・二宮町久松氏ほか／12月14日／4人（佐川）
- ・小田原市「郷土文化館移転問題研究会」／12月15日／5人（武藤、佐川）
- ・大磯町立国府小学校3年4組／平成17年1月14日／35人（國見）
- ・二宮町久松氏ほか／1月25日／5人（北水）
- ・小諸市教職員研修／2月2日／2人（國見）
- ・逗子歴史散歩／3月11日／30人（佐川）
- ・大磯町社会教育委員会研修／3月18日／5人（佐川）

#### <執筆>

佐川和裕

2004. 5. 『民俗に親しむ会 Information』No.55 大磯町郷土資料館
8. 「ものを遺（のこ）す」『山北町史編集だより』第8号 山北町史編さん班
10. 『日本人形の姿と形―節句飾りを絵解きする―』特別展図録（分担執筆） 東京家政学院生活文化博物館・大磯町郷土資料館
11. 「アカウミガメの産卵と孵化についての覚え書き」『Report 大磯町郷土資料館だより』25 大磯町郷土資料館
2005. 2. 「これからの相模民俗学会」『民俗』第190・191号 相模民俗学会
3. 「衣類整理と「布と着物」展～ワークショップ参加者との協働作業を通じて～」『民具マンスリー』第37巻12号 神奈川大学日本常民文化研究所
3. 「資料館と業務評価、人事評価」『年報―平成15年度―』大磯町郷土資料館
3. 『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗(生活)資料―食―』（共著）資料館資料9 大

磯町郷土資料館

3. 「平成 16 年度博物館実習「展示実習」報告」(分担執筆)『東京家政学院生活文化博物館年報』第 15 号 東京家政学院生活文化博物館
3. 「展示批評<東京家政大学博物館特別企画展「一枚布の民族展示」>」『民具研究』第 131 号 日本民具学会

國見 徹

2004. 8. 新刊紹介「木村衡著『古代民衆寺院史への視点』」『地方史研究』310 地方史研究協議会
11. 『合併 50 周年記念写真展』企画展リーフレット 大磯町郷土資料館

北水慶一

2004. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12./2005. 1. 2. 3.  
『草と木の調査だより』No.04—01~12 大磯町郷土資料館
2005. 3. 「大磯町におけるウミガメ漂着の近況」『大磯町史研究』第 12 号 大磯町
3. 「草と木の調査「城山公園の植物」の活動報告」『年報—平成 15 年度—』大磯町郷土資料館
3. 「高齢者の博物館利用」ほか『神奈川県博物館協会会報』第 76 号 神奈川県博物館協会

加藤廣美

2005. 3. 『大磯町郷土資料館収蔵資料目録 民俗(生活)資料—食—』(共著)資料館資料 9 大磯町郷土資料館

## ■博物館実習

博物館実習

平成 16 年度の博物館実習は 3 大学より 3 名の学生を受け入れた。実習期間は 9 月 28 日から 10 月 9 日の間(10 月 3 日・4 日を除く)及び 9 月 7 日(事前ガイダンス)、10 月 22 日(課題等提出)の計 12 日間であった。

実習の内容については、例年どおり実習期間の前後半で分け、前半は考古、民俗、自然の分野別の作業や梱包、軸物の取り扱い等の実務作業を行い、後半は常設展示室の展示替えを行った。展示替えは実習生が主体となり、企画立案から展示完成までを行う作業であり、本年度は「別荘のある風景」のタイトルで作業を進めた。

大磯町は明治から昭和にかけて別荘地として栄えた。当町に別荘を設けた著名人のうち数名を取り上げ、別荘の外観写真、位置図、縁の品々などを展示した。初めて経験する作業に苦慮する姿が見られたものの、実習生全員が真摯に作業に臨み、展示は無事完成した。実習期間中に展示にあわせて B5 版 4 頁のリーフレットを作成した。近年、歴史的建造物保存・活用に関する問題が多く、関心を寄せていることもあり、リーフレットは好評を得ている。

<実習生>

市川未津妃(駒澤大学)、佐藤まり江(国士舘大学)、森 幸子(東海大学)



<課程>

月 日	曜日	午 前	午 後
9月7日	火		ガイダンス
9月28日	火	講義（資料館の活動概要）	町内施設見学
9月29日	水	共催展資料搬出作業見学 ／歴史資料整理（写真の焼付け）	歴史資料整理
9月30日	木	自然史資料整理（記録写真の整理）	自然史資料整理 ／展示替実習（展示構想打ち合わせ）
10月1日	金	民具整理（漁船クリーニング） ／自然史調査（ストランディング調査）	民具整理（漁船クリーニング） ／展示替実習（展示構想打ち合わせ）
10月2日	土	講義（資料の取扱いと梱包） ／資料梱包実習	資料梱包実習／軸物・箱物の取扱い ／展示替実習（展示構想打ち合わせ）
10月3日	日		休 講
10月4日	月		休 講
10月5日	火	展示替実習（展示構想打ち合わせ、旧展示片付け、資料調査）	
10月6日	水	展示替実習（資料調査、原稿作成）	
10月7日	木	展示替実習（原稿作成、キャプション作成）	
10月8日	金	展示替実習（原稿作成、キャプション作成・資料展示・リーフレット編集）	
10月9日	土	展示替実習（資料展示、片付け）	休講（台風のため）
10月22日	金	展示替実習（パネル作成、リーフレット編集、資料展示、片付け、記録作成、展示点検、課題提出、総括）	

(担当) 北水、國見、佐川

〈資料の特別利用〉

(敬称略)

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
尖頭器	1	発表(館内)	H16. 4. 6	個人	土器	1	複写撮影/ 研究発表	H16. 11. 23	個人
館内展示	—	撮影/ 刊行物掲載	H16. 5. 14	個人	写真	2	撮影/ 刊行物掲載	H16. 11. 30	個人
絵はがき	6	撮影/ 刊行物掲載	H16. 5. 20	湘南スタイル	写真	2	撮影/ ホームページ	H16. 12. 9	個人
館内展示	—	撮影/放映	H16. 5. 28	JA神奈川県 広報局	サルンボ	—	撮影/ 刊行物掲載	H16. 12. 17	(有)メディア アート
ビデオテープ	2	ダビング/ 放映	H16. 6. 8	恒道園	絵はがき	1	撮影/放映	H16. 12. 18	湘南ケーブル ネットワーク㈱
写真	1	複写/ 刊行物掲載	H16. 6. 10	神奈川県 博物館協会	図録	1	撮影/ ホームページ	H16. 12. 28	個人
写真	28	複写/ 刊行物掲載	H16. 6. 22	大磯町立図 書館	写真	1	撮影/ 刊行物掲載	H17. 1. 19	大磯町 経済観光課
写真	6	撮影/放映	H16. 7. 6	(株)トップ シーン	館内展示	—	撮影/ 参考資料	H17. 1. 27	個人
写真	1	複写/掲載	H16. 7. 14	藤沢市 教育委員会	報告書	1	閲覧/研究	H17. 2. 4	個人
館内展示	—	撮影/資料	H16. 7. 17	個人	館内展示	—	撮影/研究	H17. 2. 5	個人
写真	—	複写/ 刊行物掲載	H16. 8. 4	東京家政学院大学 生活文化博物館	ビデオテープ	2	ダビング/ 放映	H17. 2. 6	(株)アルファ 映像
絵はがき	18	撮影/放映	H16. 9. 17	毎日映画社	館内展示	—	撮影/ 参考資料	H17. 2. 11	個人
館内展示	—	撮影/ 研究発表	H16. 9. 28	個人	館内展示	—	撮影/ 参考資料	H17. 2. 12	個人
館内展示	—	撮影/ 研究発表	H16. 9. 28	個人	写真	5	撮影/ 刊行物掲載	H17. 2. 16	神奈川県 広報県民課
館内展示	—	撮影/記念	H16. 9. 28	個人	館内展示	—	撮影/ 参考資料	H17. 2. 20	個人
建物外観	—	撮影/ 参考資料	H16. 10. 17	個人	絵はがき	1	撮影/ 刊行物掲載	H17. 2. 20	(株)小学館
館内展示	—	撮影/ 参考資料	H16. 10. 24	個人	サルンボ	—	撮影/ 参考資料	H17. 2. 22	個人
絵はがき	7	複写/ 刊行物掲載	H16. 10. 31	個人	絵はがき	1	撮影/ ホームページ	H17. 3. 8	個人
箱船	1	撮影/研究	H16. 11. 5	個人	ポスター 他	5	撮影/放映	H17. 3. 26	(株)テレビ神 奈川

〈資料の館外貸出〉

(敬称略)

資料名	点数	利用目的	期 間	申請者	資料名	点数	利用目的	期 間	申請者
写真 他	2	展示	H16. 4. 15 ～ 4. 30	(株)かまくら 春秋社	写真	15	広報紙掲 載	H16. 10. 26 ～ 11. 16	大磯町 企画室
写真	1	議会だより 掲載	H16. 4. 20 ～ 4. 26	大磯町 議会事務局	考古資料	12	講座資料	H16. 10. 28 ～ 10. 29	大磯町 生涯学習館
写真	3	番組制作	H16. 5. 13 ～ 6. 1	藤沢市 まちづくり協会	衣類 他	13	展示	H16. 10. 29 ～ 10. 31	個人
脇差 他	2	刀の研磨	H16. 5. 15 ～ 10. 11	西小磯西区	土質標本 他	4	授業	H16. 11. 10 ～ 11. 30	大磯町 学校教育課
写真	10	刊行物掲載	H16. 5. 20 ～ 7. 13	個人	脇差	1	祭礼	H16. 11. 23 ～ 11. 23	西小磯東区
松本順像 他	1 1	展示	H16. 5. 20 ～ 10. 9	熊本市現代 美術館	写真	6	冊子掲載	H16. 11. 30 ～ 12. 19	個人
写真	5	展示	H16. 6. 7 ～ 6. 10	日本郷土玩 具博物館	写真	1	展示	H16. 12. 10 ～ 12. 25	平塚市博物 館
写真	1	ハンドブック 掲載	H16. 6. 10 ～ 6. 30	神奈川県 博物館協会	古文書	一括	町史編纂	H16. 12. 23 ～ H17. 1. 21	大磯町立図 書館
調査報告書	2	調査資料	H16. 6. 23 ～ 7. 8	大磯町 防災対策担当	写真	9	紙面掲載	H16. 12. 24 ～ H17. 1. 10	日本経済新聞
絵はがき	1	議会だより 掲載	H16. 7. 7 ～ 7. 9	大磯町 議会事務局	絵はがき	2	議会だより 掲載	H17. 1. 12 ～ 1. 26	大磯町 議会事務局
スライド	10	チラシ掲載	H16. 7. 15 ～ 7. 30	読広アドク レス	写真	1	パンフレット 掲載	H17. 1. 19 ～ 3. 25	大磯町 経済観光課
ビデオテープ	1	講座	H16. 7. 29 ～ 8. 7	平塚市博物 館	ビデオテープ	2	教材	H17. 2. 6 ～ 2. 25	(株)アルファ 映像
図書	1	研究資料	H16. 8. 14 ～ 8. 25	個人	基本設計書 他	4	参考資料	H17. 2. 15 ～ 3. 10	愛川町 教育委員会
図書 他	4	参考資料	H16. 8. 17 ～ 8. 31	個人	写真	5	刊行物掲載	H17. 2. 16 ～ 3. 20	神奈川県 広報県民課
写真	3	刊行物掲載	H16. 9. 15 ～ 9. 30	(有) ケイ・ アソシエーション	写真	1	刊行物掲載	H17. 2. 23 ～ 3. 18	藤沢市 教育委員会
写真	2	放映	H16. 9. 16 ～ 9. 17	毎日映画社	考古資料 馬場18地点	26	町史編纂	H17. 2. 27 ～ 3. 18	大磯町立図 書館
書簡	1	展示および 図録掲載	H16. 9. 22 ～ 11. 20	かごしま 近代文学館	考古資料 馬場36地点	17	町史編纂	H17. 2. 27 ～ 3. 18	大磯町立図 書館
写真 他	4	紙面掲載	H16. 9. 25 ～ 9. 30	(株)タウン ニュース社	考古資料 馬場37地点	9	町史編纂	H17. 2. 27 ～ 3. 18	大磯町立図 書館
写真 他	一括	展示	H16. 9. 29 ～ 11. 17	東京家政学院大学 生活文化博物館	軸物 他	一括	祭礼	H17. 3. 5 ～ 3. 6	西小磯西区
写真	1	議会だより 掲載	H16. 10. 10 ～ 10. 20	大磯町 議会事務局	写真	15	パネル作成	H17. 3. 10 ～ 3. 13	個人
図録	1	研究資料	H16. 10. 21 ～ 10. 31	個人	考古資料	29	町史編纂	H17. 3. 11 ～ 4. 28	大磯町立図 書館



■博物館資料の収集と利用

〈寄贈資料〉

(敬称略)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
0424	H16. 4. 6	掛図	15	湯口正毅 大磯町寺坂	0805	H16. 8. 27	蜂の巣	1	木村純子 大磯町大磯
0425	H16. 4. 3	磁器	1	安藤次郎 平塚市東真土	0902	H16. 9. 15	時計 他	3	尾崎芳治 大磯町大磯
0426	H16. 4. 7	パソコン 他	4	渡邊恵子 大磯町東町	0903	H16. 9. 16	書籍	40	荒巻昌宏 平塚市高村
0427	H16. 4. 14	マクラ 他	3	尾崎三郎 大磯町大磯	0905	H16. 9. 16	タイマイ(剥製)	1	鈴木孝明 大磯町西小磯
0428	H16. 4. 15	イシウス 他	2	飯田政尚 大磯町大磯	1001	H16. 10. 19	松本順像	1	野村榮一 東京都世田谷区
0429	H16. 4. 15	ハタキ	1	新見由美子 大磯町東小磯	1101	H16. 11. 5	古文書 他	一括	加藤廣美 大磯町国府本郷
0430	H16. 4. 16	エモンカケ	10	渡邊恵子 大磯町東町	1102	H16. 11. 5	ツリバリ 他	一括	西山敏夫 二宮町山西
0501	H16. 5. 7	ハオリ 他	19	宮崎吾有子 大磯町西小磯	1103	H16. 11. 5	アキナイバコ 他	10	宮代伊佐雄 大磯町大磯
0502	H16. 5. 7	ヘラ台 他	一括	加藤廣美 大磯町国府本郷	1104	H16. 11. 18	墨彩 「左義長(2003年)」	1	佐野クミ子 横浜市神奈川区
0503	H16. 5. 19	マキハダ 他	一括	西山敏夫 二宮町山西	1105	H16. 11. 24	レンタンヒバチ 他	4	鈴木勝一 大磯町大磯
0505	H16. 5. 1	祝い着	2	栗原平太郎 大磯町東小磯	1106	H16. 11. 26	昆虫標本 他	一括	木村純子 大磯町大磯
0506	H16. 5. 1	ドンゴロス 他	2	西山縫子 大磯町石神台	1107	H16. 11. 28	写真 他	19	鈴木 昇 大磯町西小磯
0601	H16. 6. 1	木目込み人形 他	32	中村 進 大磯町東小磯	1201	H16. 12. 11	サーベル	1	野村榮一 東京都世田谷区
0603	H16. 6. 4	ヒバシ 他	5	尾崎芳治 大磯町大磯	1202	H16. 12. 18	小田原提灯 他	3	新見由美子 大磯町東小磯
0606	H16. 6. 10	衣類の雛型 他	一括	角田芳明 横浜市緑区	0101	H17. 1. 5	平瓦(破片) 他	5	飯田福信 大磯町大磯
0701	H16. 7. 9	書籍 他	一括	西山敏夫 二宮町山西	0102	H17. 1. 20	古文書 他	一括	石塚アヤ子 二宮町二宮
0801	H16. 8. 8	ハンテン 他	3	今井ミヨ子 大磯町国府新宿	0201	H17. 2. 23	ソロバン 他	3	宮代伊佐雄 大磯町大磯
0802	H16. 8. 8	絵はがき	一括	飯田善雄 大磯町大磯	0301	H17. 3. 6	的(白岩神社祭礼用)	1	西小磯(東西)区
0803	H16. 8. 11	陶磁器	一括	安藤次郎 平塚市東真土	0303	H17. 3. 11	写真	一括	(故)日野一郎 平塚市
0804	H16. 8. 11	土器・石器	一括	飯田善雄 大磯町大磯					

〈寄託資料〉

(敬称略、寄託期間:H16. 4. 1~H18. 3. 31)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
0401	H16. 4. 1	雛人形	一式	田川順三 横浜市緑区	0413	H16. 4. 1	統監帽 他	一括	西小磯東区
0402	H16. 4. 1	高札	3	坂井保治 大磯町黒岩	0414	H16. 4. 1	獅子頭	2 (一対)	裡道区
0403	H16. 4. 1	一本松稲荷講中 資料	一括	宮代治吉 大磯町大磯	0415	H16. 4. 1	書籍 他	一括	飯島容子 横浜市中区
0404	H16. 4. 1	菊池重三郎関係 資料	一括	菊池なつみ 大磯町大磯	0416	H16. 4. 1	吉田茂杯 他	5	大磯中学校
0405	H16. 4. 1	クロッカスガーデン 看板	1	添田光雄 大磯町国府本郷	0417	H16. 4. 1	古文書	一括	近藤敬一郎 東京都新宿区
0406	H16. 4. 1	書(断片)	一括	加藤文八 平塚市諏訪町	0418	H16. 4. 1	書幅	1	二宮勝男 平塚市下吉沢
0407	H16. 4. 1	古文書	一括	後藤 勲 大磯町月京	0419	H16. 4. 1	木造神像 他	12	高来神社
0408	H16. 4. 1	書籍	2	山川 正 大磯町国府新宿	0420	H16. 4. 1	木造仁王像	2 (一対)	慶覚院
0409	H16. 4. 1	七夕資料 他	一括	西小磯西子ども会	0421	H16. 4. 1	随神 他	3	南本町区
0410	H16. 4. 1	稲荷講資料	一括	中村晴夫 大磯町西小磯	0422	H16. 4. 1	稲荷講	一括	戸塚 浩 大磯町西小磯
0411	H16. 4. 1	古文書 他	9	守屋町子 大磯町黒岩	0423	H16. 4. 1	古文書	一括	小見滋夫 大磯町西小磯
0412	H16. 4. 1	掛軸 他	一括	西小磯西区					

〈移管資料〉

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
0431	H16. 4. 22	耐火煉瓦	2	大磯町 福祉課	0702	H16. 7. 9	レコード	52	大磯町 財政課
0504	H16. 5. 26	電話機	1	大磯町 観光案内所	0901	H16. 9. 7	蓄音機 他	2	大磯町環境 美化センター
0602	H16. 6. 3	レコード	19	大磯町環境 美化センター	0302	H17. 3. 3	人骨 他	一括	大磯町役場 都市整備課
0604	H16. 6. 9	投票箱	1	大磯町 選挙管理委員会	0304	H17. 3. 24	瓦	3	大磯町役場 福祉課
0605	H16. 6. 9	カメラ	1	大磯町環境 美化センター					

〈購入資料〉

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
1002	H16. 10. 20	湘南軌道パンフレット	1	すりもの堂書店 東京都町田市

〈寄贈図書一覧〉

出版地	寄贈者	書名	発行年月		
大磯町	エリザバスサンダースホーム こまたん	『かけはし 第16号』	2004/12		
		『アオバトのふしぎ』	2004/04		
伊勢原市	伊勢原市教育委員会	『いせはらのむかし 小・中学校社会科歴史読本』	2004/03		
寒川町	寒川町企画部企画課        寒川町教育委員会	『寒川町史研究 第17号』	2004/03		
		『寒川町史研究 第18号』	2005/03		
		『寒川町史調査報告書14』	2004/03		
		『寒川町史調査報告書15 ～国勢調査と寒川～』	2005/03		
		『寒川町史13 別編 事典・年表』	2004/03		
		『寒川の文化財』	2002/03		
		『寒川町埋蔵文化財調査報告書 第1集 下大曲上ノ山遺跡 ～発掘調査報告書～』	2005/03		
		『神奈川県高座郡寒川町 梶原景時館址・塔の塚発掘調査報告書』	2002/03		
		『神奈川県高座郡寒川町 小動鶴毛遺跡 ～埋蔵文化財発掘調査報告書～』	2003/03		
		『神奈川県高座郡寒川町 高田遺跡 発掘調査報告書 ～第3次調査ほか～』	2003/10		
		『倉見才戸遺跡 第1次調査』	2004/03		
		茅ヶ崎市	茅ヶ崎市文化資料館	『茅ヶ崎 自然の新聞』第242～246、251、255～264号	2003-2005
				『文化資料館調査研究報告 12』	2004/03
秦野市	丹沢自然保護協会 秦野市史編さん委員会 秦野市総務部文書法制課 秦野市立桜土手古墳展示館	『丹沢だより』No.395～399、404～417	2003-2005		
		『秦野市史研究 第23号』	2004/03		
		『秦野市 通史5 現代(2)』	2004/12		
		『桜土手古墳展示館だより』Vol.21、22	2003-2004		
		『研究紀要 第5号』	2004/03		
		『秦野の文化財 第40集』	2004/03		
平塚市	神奈川県教育庁中教育事務所 東海大学校地内遺跡調査団 平塚市教育委員会  平塚市中央図書館  平塚市博物館  平塚市美術館	『秦野市文化財調査報告書8 秦野の遺跡1』	2004/03		
		『社会教育2003 中地区の社会教育』	2003/07		
		『東海大学校地内遺跡調査団報告 11・12』	2004/03		
		『平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書11 平塚D/田村館跡/稲荷前A/万田』	2004/03		
		『平塚市埋蔵文化財シリーズ39 山王久保遺跡 ～第11地点～』	2004/03		
		『中勘助展』目録	2004/11		
		『郷土の出版展』図録	2004/10		
		『有島武郎展』図録	2003/05		
		『ガイドブック19 ちよつと海まで』	2001/03		
		『展示解説ボランティアの会 会報 No.6』	2004/09		
		特別展『～掘り起こされた平塚Ⅲ～ 遺跡が語る地域の歴史』図録	2004/09		
		特別展『平塚の生きもの地図』図録	2004/07		
		『資料叢書4 中原街道抄』	2004/04		
		『平塚市博物館研究報告 自然と文化 No.27』	2004/03		
		『平塚市博物館年報 No.27』	2004/03		
		『市民が探る平塚空襲 資料編(二)』	2004/03		
『指先から広がる4つの世界<かご>展 パステラー+Comtemporary Works+民具』図録	2004/07				
『保田龍門・春彦 ～絵画と彫刻～展』図録	2004/10				
『平成14年度 平塚市美術館』	2003/03				
藤沢市	鶴沼郷土資料室 湘南考古学同好会 藤沢市教育委員会 藤沢市文書館	『鶴沼郷土資料室展示だより 創刊号』	2004/03		
		『湘南考古学同好会々報 97』	2004/12		
		『藤沢市文化財調査報告書 第39集』	2004/03		
		『藤沢市文書館 紀要二十六』	2004/03		
		『藤沢市史料集(二十八) 伊勢参宮行・道中日記』	2004/03		
		『藤沢市史研究 第37号』	2004/03		
小田原市	神奈川県立 生命の星・地球博物館       小田原市教育委員会	『自然科学のとびら』35～40号	2003-2005		
		『東洋のガラパゴス 小笠原 ～固有生物の魅力とその危機～』図録	2004/07		
		特別展『丹沢の自然 ～その生い立ちと生きもの～』図録	2003/11		
		企画展『+2℃の世界』図録	2004/12		
		『神奈川自然誌資料 第24号』	2003/03		
		『神奈川自然誌資料 第25号』	2004/03		
		『神奈川県立博物館 研究報告 自然科学32号』	2003/03		
		『神奈川県立博物館 研究報告 自然科学33号』	2004/03		
		『神奈川県立博物館 調査研究報告 自然科学第12号 小笠原における昆虫相の変遷』	2004/03		
		『神奈川県立生命の星・地球博物館年報 第9号 (2003年度)』	2004/09		
		『小田原市郷土文化館研究報告 No.39 (人文科学 No.20)』	2003/03		
『小田原市郷土文化館研究報告 No.40 (自然科学 No.20)』	2004/03				
『平成15年 小田原市遺跡調査発表会 発表要旨』	2003/11				

	小田原市郷土文化館	特別展『肖像画展 ～小田原を彩った顔～』図録	2003/11
	小田原城天守閣	特別展『武者の姿 ～浮世絵の中の武者～』図録	2003/11
		特別展『瓦は語る ～一夜城と小田原城～』図録	2004/10
	日本道路公団	『JHおだわらNEWS 第18号』	2004/03
<b>箱根町</b>	箱根町立郷土資料館	企画展『七湯の枝折』図録	2004/09
		『箱根町立郷土資料館 館報 第20号』	2003/12
		『箱根町立郷土資料館 館報 第21号』	2004/09
<b>真鶴町</b>	中川一政美術館	『美術館だより 第11号』	2003/03
<b>南足柄市</b>	足柄史談会	『史談足柄 第42集』	2004/04
<b>山北町</b>	山北町教育委員会	『足柄の文化 第31号』	2004/03
		『山北町史 編集だより 第8号』	2004
<b>横浜市</b>	神奈川県企画県民部	『三浦半島 ～近代の記憶 そして未来へ～』	2005/03
	神奈川県教育委員会	『神奈川県埋蔵文化財調査報告 46』	2004/03
		『かながわの民俗芸能』第65～68号	2001-2004
		『歴史とふれあい 現代に活かすために』	2003
		『埋蔵文化財関係統計資料』	2004/12
	神奈川県議会	『議会 かながわ』No.96, 97	2004
	神奈川県博物館協会	『神奈川県博物館協会会報 第75号』	2004/03
		『NETWORK』第24、25号	2003-2004
		『平成16年度 東海地区博物館連絡協議会 日本博物館協会東海支部 理事会・総会資料』	2004/07
	神奈川県福祉部	『カラー・バリアフリー 色使いのガイドライン』	2004/03
	神奈川県立公文書館	『神奈川県立公文書館だより 第9号』	2003/03
		企画展示『戦国時代の神奈川 ～北条五代文書展～』図録	2004/01
		『神奈川県立古文書資料所在目録 第23集』	2001/03
	神奈川県立図書館	『地域資料目録・主題別シリーズ8 箱根関係文献目録』	2004/03
		『郷土神奈川 第42号』	2004/03
		『郷土神奈川 第43号』	2005/02
	神奈川県近代文学館	『神奈川県近代文学館』第80号	2003
		『神奈川県近代文学館 年報 2003年(平成15年度)』	2004/06
	神奈川県立歴史博物館	『神奈川県立歴史博物館だより』164～167号	2003-2004
		特別展『浮世絵 江戸名所七変化 丹波コレクションの魅力』図録	2004/02
		特別展『横浜正金銀行 ～世界三大為替銀行への道～』図録	2004/07
		特別展『重要文化財 ～かながわ考古展～』図録	2003/10
		『神奈川県立歴史博物館 年報 平成14年度』	2003/12
		『神奈川県立歴史博物館 年報 平成15年度』	2004/07
		『神奈川県立博物館研究報告 ～人文科学～ 第30号』	2004/03
		特別展『湘南の古刹 ～神武寺の遺宝～』図録	2004/10
	神奈川県立歴史民俗資料館 (財)かながわ考古学財団	『かながわ考古学財団調査報告156 真言院北やぐら群』	2003/03
		『かながわ考古学財団調査報告159 平六ヶ入やぐら群』	2003/12
		『かながわ考古学財団調査報告160 金田仙神やぐら群』	2003/12
		『かながわ考古学財団調査報告162 大倉幕府北やぐら群』	2004/02
		『かながわ考古学財団調査報告164 由比ガ浜南遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告165 池端・椿山遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告167 用田大河内遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告168 用田南原遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告169 六浦大道遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告170 宮山中里遺跡/宮山台畑遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告171 山ノ神遺跡・鷹見塚遺跡』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告172 間口またやぐら群』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告173 正禅寺やぐら群』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告174 長勝寺跡内やぐら群Ⅱ』	2004/03
		『かながわ考古学財団調査報告175 篠原大原遺跡』	2004/09
		『かながわ考古学財団調査報告176 薬王寺やぐら群』	2004/12
		『かながわ考古学財団調査報告177 正観寺やぐら群』	2004/09
		『かながわ考古学財団調査報告176 風間北遺跡・風間遺跡』	2005/01
		『かながわ考古学財団調査報告179 紅葉ヶ丘遺跡』	2005/02
		『かながわ考古学財団調査報告180 用田南原遺跡Ⅱ』	2005/02
		『かながわ考古学財団調査報告181 西御門東やぐら群』	2005/01
		『かながわ考古学財団調査報告182 山王堂東谷やぐら群Ⅲ』	2005/02
		『かながわ考古学財団調査報告183 旗立山やぐら群』	2005/01
		『かながわ考古学財団調査報告184 山王堂東谷やぐら群Ⅳ』	2005/03
		『かながわ考古学財団調査報告185 用田鳥居前遺跡Ⅱ』	2005/03
		『かながわ考古学財団調査報告186 山王堂東谷やぐら群Ⅴ』	2005/03
		『かながわ考古学財団調査報告187 西御門東やぐら群Ⅱ』	2005/03
		『かながわ考古学財団調査報告188 矢作第2やぐら群』	2005/03
		『年報11 平成15年度』	2004/11

(財)神奈川県市町村振興協会 (財)横浜市ふるさと歴史財団	『研究紀要10 神奈川の考古学』	2005/02
	『自治展望』第46～48号	2004-2005
	『笠間中央公園遺跡発掘調査報告書』	2003/12
	『埋文よこはま』6～8	2003-2004
	『西見谷遺跡発掘調査報告』	2004/03
	『泉警察遺跡発掘調査報告2』	2004/03
	『杉田東漸寺貝塚発掘調査報告』	2004/03
	『川和中村A遺跡 発掘調査報告』	2004/11
	『財団法人横浜ふるさと歴史財団 年報 平成14年度』	2003/12
	『財団法人横浜ふるさと歴史財団 年報 平成15年度』	2004/12
	『馬の博物館だより No.41』	2004/09
	特別展『馬と人を結ぶもの ～鞍の世界～』図録	2004/09
	『常民研news No.25』	2004
	『民具マンスリー 第37巻12号』	2005/03
馬の博物館	『神奈川地域史研究会 会報』第71～74号	2003-2004
	『神奈川地域史研究 第22号』	2004/03
神奈川大学日本常民文化研究所	『KGU Message 2005 関東学院大学』	2004/05
	『2003年度秋学期 セミナール I 論集「大磯の左義長」』	2004/04
神奈川地域史研究会	『消えゆく養蚕用語』	2004/03
	『神奈川県綾瀬市 山王塚遺跡 発掘調査報告書』	2003/11
関東学院大学	『川崎市麻生区 細山向原遺跡 i地点発掘調査報告書』	2003/11
	『横浜市緑区 第2地点発掘調査報告書』	2003/11
関東学院大学文学部	『神奈川県厚木市 妻田白根遺跡 第7地点 発掘調査報告書』	2003/12
	『神奈川県伊勢原市 東大竹上谷戸遺跡 第II地点 発掘調査報告書』	2003/12
シルク博物館	『神奈川県小田原市 小八幡東畑遺跡 第I地点 発掘調査報告書』	2003/12
	『神奈川県愛甲郡愛川町 臼谷谷遺跡 発掘調査報告書』	2004/01
玉川文化財研究所	『神奈川県伊勢原市 沼目吹上遺跡 発掘調査報告書』	2004/06
	『神奈川県伊勢原市 東大竹下原遺跡 第2地点』	2004/06
寺家ふるさと村「四季の家」 ニュースパーク(日本新聞博物館) 横浜市教育委員会	『神奈川県川崎市高津区 津田山-9遺跡 発掘調査報告書』	2004/07
	『はなあふ通信』5,10月号/2003, 8,11月号/2004, 2月号/2005	2003-2005
	『NIEニュース/ニュースパークたより』第35～38号/No.21～24	2004-2005
	『横浜市文化財地図』	2004/03
	『港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告35 高山遺跡』	2004/03
	『平成14年度 文化財年報(埋蔵文化財 その21)』	2004/03
	『横浜の文化財 ～横浜市文化財総合調査概報(十七)～』	2005/03
	『平成15年度 文化財年報(埋蔵文化財 その22)』	2005/03
	『横浜市動物園年報 平成15年度』	2004/10
	企画展『古代を考えるIII 文字との出会い ～南武蔵・相模の地域社会と文字～』図録	2003/05
	特別展『鎌倉御家人 平子氏の西遷・北遷』図録	2003/10
	収蔵資料展『ペリー来航と東京湾』図録	2003/07
	『古代日本 文字のある風景 ～金印から正倉院文書まで～』図録	2002/03
	『製造元祖 横浜 風琴 洋琴ものがたり』図録	2004/01
『武州金沢藩(六浦藩)関係資料集 I』	2003/08	
横浜市緑政局 横浜市歴史博物館	『横浜市歴史博物館 紀要 Vol.7』	2003/03
	『横浜市歴史博物館資料目録 第11集』	2003/03
横浜市歴史博物館	『横浜市歴史博物館資料目録 第12集』	2004/03
	『横浜人形の家 イベントニュース』5～8/2003, 1～2, 4～6, 8～12/2004, 1～4/2005	2003-2005
横浜人形の家 横浜ユーラシア文化館	『News from EurAsia 横浜ユーラシア文化館ニュース No.1』	2004
	『川崎市 文化財調査集録 38』	2003/03
川崎市	『川崎市 文化財調査集録 39』	2003/04
	『museum news Vol.68』	2003
川崎市市民ミュージアム	企画展『日本の幻獣 ～未確認生物出現録』図録	2004/07
	『川崎市市民ミュージアム 紀要 第16集』	2004/03
川崎市立日本民家園	『川崎の民間信仰』	2004/03
	『日本民家園収蔵品目録1 旧船越の舞台』	2003/10
有明文化財研究所	『日本民家園収蔵品目録2 旧作田家住宅』	2004/07
	『日本民家園収蔵品目録3 船頭小屋・蚕影山祠堂』	2005/01
鎌倉市	『神奈川県川崎市 万福寺遺跡群』	2005/02
	『武家の古都 鎌倉 世界遺産への登録をめざして』	2004/09
鎌倉市世界遺産登録推進担当 鎌倉八幡宮社務所 鎌倉文学館	『鶴岡』No.93, 94, 96, 98～100	2003
	『星野立子 ～天才少女のスローライフ』図録	2004/10
グリーンタフ事務局	企画展『立原正秋 ～美と伝統を求めて～』図録	2004/04
	『自然観察』No.260～263, 268～270, 272～283	2003-2005
三浦市	『平成14年度 三浦市文化財展 海蝕洞穴遺跡の世界 ～海辺の遺跡、台地の遺跡～』図録	2002/11
	『三浦市文化財 第19集 三浦市文化財マップ 三浦探訪』	-
横須賀市	『横須賀美術館準備ニュース Vol.1』	2004

	横須賀市自然・人文博物館	特別展示『ホテル点滅の不思議 ～地の奇跡～』図録 『横須賀市博物館報 第50号』 『横須賀市博物館資料集 第28号』 『横須賀市博物館研究報告(人文科学) 第48号』 『横須賀市博物館研究報告(自然科学) 第51号』	2004/07 2004/03 2004/03 2004/03 2004/03
<b>逗子市</b>	逗子市教育委員会	『神奈川県逗子市埋蔵文化財発掘調査報告書3 埋蔵文化財試掘確認調査報告2(平成12～14年度)』 『神奈川県逗子市埋蔵文化財発掘調査報告書4 史跡名越切通確認調査報告』 『国指定史跡名越切通 崩落対策検討報告書』 『シンポジウム 前期古墳を考える ～長柄・桜山の地から～ 国史跡指定記念講演会 未来に活かす史跡整備を考える』	2004/03 2004/03 2004/03 2004/03
<b>葉山町</b>	神奈川県立近代美術館 葉山しおさい博物館	『神奈川県立近代美術館 新館準備ニュース 2号』 『潮騒だより No.15』 『潮騒ガイドブック⑧ 海洋生物図鑑(1) カニ類』	2003/04 2004/03 2004/03
<b>厚木市</b>	厚木市教育委員会  厚木市郷土資料館	特別展『農具から農機具へ ～流通民具が語るもの～』図録 『平成14年度 厚木市文化財年報 第2号』 『神奈川県厚木市 吾妻坂古墳 出土資料調査報告』 特別展『あつぎ地域の草木 花めぐり』図録 『あつぎがいで1 あつぎ野山や川の散策ガイド』 『あつぎがいで1 あつぎ野山や川の散策ガイド ～増補改定版～』 『資料館資料集;No.17 厚木市七沢の動植物 I』 『厚木市郷土資料館年報 2』	2003/11 2004/03 2004/03 2002/12 2003/03 - 2004/03 2003/05
	神奈川県自然環境保全センター	『神奈川県自然環境保全センター報告 第1号 No.1』	
<b>綾瀬市</b>	綾瀬市秘書課	『市史だより』第26～28号 『綾瀬市史5 通史編 原始・古代』 『綾瀬市史10 別編ダイジェスト 写真でみるあやせ』	2003-2005 2002/03 2004/03
<b>相模原市</b>	相模原市教育委員会  相模原市立博物館	『平成16年 相模原市文化財年報』 『相模原市埋蔵文化財調査報告31 田名向原遺跡II』 『相模原市立博物館 NEWS』Vol.30、33～37 特別展『水晶つてすばらしい! ～その美と実力の魅力～』図録 『相模原市立博物館 研究紀要 第13集』	2004/08 2004/03 2003-2005 2003/07 2004/03
	相模原市立 相模川ふれあい科学館	『相模原市立 相模川ふれあい科学館だより』No.18、19	2003-2004
<b>座間市</b>	座間市教育委員会	『座間むかしむかし 第二十六集』 『座間市文化財調査報告書 第17集 護王姫社の絵馬』	2004/03 2004/03
<b>茨城県</b>	上高津貝塚ふるさと歴史の広場	特別展『山野を駆ける土偶 ～その移り変わりと祈りの道具～』図録 企画展『土浦の遺跡8 発掘された土浦城 ～地中に眠る知られざる歴史～』図録 『史跡 土浦城跡II』 『山川古墳群(第2次調査)』 『北西原遺跡(第一次調査)』 『北西原遺跡(第3次・第4次調査)、山川古墳群(第1次調査)』 『六十原遺跡』 『大宮前遺跡』	2005/03 2004/10 2004/03 2004/03 2004/03 2004/03 2003/11 2004/03
	玉里村立史料館	『土浦市 上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第10号 ～2003(平成15)年度～』 特別展『霞ヶ浦の弥生土器』図録 『玉里村立史料館報 Vol.9』	2005/03 2004/10 2004/03
	東町立歴史民俗資料館	企画展『東町仏教遺宝展 御仏のかたち』図録	2004/11
<b>栃木県</b>	小山市立博物館	企画展『縄文人の知恵と力』図録 『小山市立博物館報 第20号 平成14年度版』 『小山市立博物館報 第21号 平成15年度版』	2004/04 2003/09 2004/10
	窯業史博物館	『横浜市青葉区 寺下遺跡』 『横浜市青葉区 釈迦堂遺跡2地区』 『川崎市宮前区 大蔵地区遺跡群』	2003/09 2003/09 2004/03
<b>群馬県</b>	北橋村教育委員会	企画展『縄文土器は変身する』図録 『北橋村村内遺跡 X I』 『北橋村文化財年報 5』	2004/10 2004/03 2004/03
<b>埼玉県</b>	埼玉県立博物館 春日部市遺跡調査会	『埼玉県立博物館 紀要 29』 『春日部市遺跡調査会報告書第13条 坊荒句遺跡2次調査地点』 『春日部市遺跡調査会報告書第14条 八木崎遺跡4次調査地点』 『春日部市遺跡調査会報告書第15条 小淵山下北遺跡7次調査地点』 『春日部市遺跡調査会報告書第16条 慈恩寺原南遺跡3次調査地点』	2004/03 2004/02 2004/03 2004/07 2005/02
	さいたま川の博物館 税務大学校租税史料館	『かわはく』No.16、18～21 特別展『地券の世界』図録 特別展示『町と村の地租改正』図録 『租税史料目録 昭和編(1)』 『租税史料館報 平成15年度版』	2003-2004 2004/03 2004/11 2004/03 2004/07
	鶴ヶ島市教育委員会 富士見市立資料館	『鶴ヶ島市埋蔵文化財調査報告 第55集 向山遺跡』 『平成14年度 富士見市立資料館 要覧』	2004/03 2003/10

富士見市立難波田城資料館	企画展『むらをまるる消防』図録 企画展『むら縄のチカラ』図録	2003/10s 2005/03
	企画展『市制施行30周年 記憶の扉1972』図録	2003/03
富士見市立水子貝塚資料館	企画展『富士見の村絵図 ～描かれた村のすがた～』図録 企画展『開園10周年記念展 水子貝塚の6000+10年』図録	2004/09 2004/12
三芳町立歴史民俗資料館	『貝の環 ～市民学芸員3年間の記録集～』 特別展『みよしの学校物語』図録	2003 2004/10
	『埼玉県入間郡三芳町 新開遺跡 ～TC区の調査～』	1989/03
立正大学博物館	『埼玉県入間郡三芳町 新開遺跡 町内遺跡発掘調査報告書Ⅱ』 『立正大学博物館 館報 万吉だより(MA GETI NEWS) 第2号』 特別展『立正大学が発掘した 埼玉の古代窯』図録	1993/03 2003/12 2003/10
<b>千葉県</b>		
伊能忠敬記念館	『伊能忠敬記念館 年報 第5号 平成14年度』	2004/03
国立歴史民俗博物館	企画展『海をわたった華花 ～ヒョウタンからアサガオまで～』図録 特別展示『明治維新と平田国学』図録	2004/07 2004/09
	『はにわ ～形と心～』図録	2003/03
	『れきはくにいこうよ 2002』	2004/03
市立市川自然博物館	『市立市川自然博物館だより』79～90号	2002-2003
	『年報 平成14年度』	2004/03
市立市川考古博物館	『平成14年度 市立市川考古博物館 館報 第30号』 『平成15年度 市立市川考古博物館 館報 第31号』	2003/12 2004/03
千葉県立中央博物館	『千葉県立中央博物館 研究報告 -人文科学- 第8巻第2号(通巻17号)』 『研究報告 人文科学 第8巻 第1号』	2004/03 2003/03
袖ヶ浦市郷土博物館	『～博学連携実践事例集～ そではくの使いかた』	2003/03
千葉市立加曾利貝塚博物館	『貝塚博物館 紀要 第31号』	2004/03
佐原市教育委員会	『佐原市内遺跡発掘調査概要 ～平成14年度～』	2004/03
館山市立博物館	『ミュージアム発見伝』No.71～73	2003-2004
千葉県立大利根博物館	『おおとね 73号』 企画展『水郷 ～水のさとに生きる～』図録	2004 2004/05
流山市立博物館	企画展『昔のくらし探検<松戸版>』図録	2004/07
松戸市立博物館	『まつどミュージアム No.13』 『松戸市立博物館 年報 第11号 平成15年度(2003)』	2004 2004/03
茂原市立美術館・郷土資料館	企画展『千葉県の自由民権運動』図録 企画展『長世郡市の遺跡』図録	2004/01 2005/01
	企画展『徳富蘆花と梅一輪 ～お馨さんの青春と思い出～』図録	2003/02
船橋市飛ノ台史跡公園博物館	『とびのだい』Vol.13～15 『飛ノ台史跡公園博物館 紀要 創刊号』	2004-2005 2004/03
<b>東京都</b>		
板橋区教育委員会	『第2回 櫻井賞受賞作文集』 『歴史民俗研究 第1輯 ～櫻井賞論集～』 『文化財年報6 (平成14・15年度)』	2004/01 2004/03 2005/03
板橋区立郷土資料館	特別展『杉原壮介と前野町遺跡』図録	2004/09
大田区立郷土博物館	『板橋区立郷土資料館年報～16・17号合併号～ 板橋区立郷土資料館紀要～第15号～』 『博物館ノート』No.133～138	2005/01 2004
お礼と切手の博物館	『大田区立郷土博物館 紀要 第14号 平成15(2003)年度』	2004/03
お茶の水女子大学	『お礼と切手の博物館ニュース』vol.17, 18	2004-2005
外務省外交史料館	『博物館実習報告 第20号 (2003年度)』	2005/02
儀礼文化学会	『外交史料館報 第18号』	2004/09
こどもの城	『儀礼文化ニュース』131, 132, 135号	2003-2004
駒澤大学禅文化歴史博物館	『こどもの城ニュース No.136』 企画展『禅の傑僧・月舟宗胡 墨蹟展』図録	2003 2004/02
	『駒澤大学禅文化歴史博物館蔵品目録 絵画・墨蹟編1』	2004/06
	『駒大史ブックレット2 宣教部日誌にみる大正期の駒大生 (その1)』	2004/03
	『駒大史ブックレット3 宣教部日誌にみる大正期の駒大生 (その2)』	2004/12
駒澤大学博物館	『駒澤大学 博物館学講座年報 2003年度』 『駒澤VOICE 2005』	2004/03 -
	『駒澤大学百二十年 過去からいま そして未来へ』	2002/10
品川歴史館	特別展『しながわの大名下屋敷』図録	2003/10
品川区立品川歴史館	『品川歴史館 紀要 第18号』 『品川歴史館 紀要 第19号』	2003/03 2004/03
昭和館	『昭和館 館報 平成15年度』	2004/10
世田谷区教育委員会	企画展『せたがやの瓦 ～だるま窯のあった風景～』図録	2004/11
全国民俗芸能保存振興市町村連盟	『全民連だより』第50, 51号	2003-2004
台東区下町風俗資料館	『下町風俗資料館 號外』12月/2003, 4.6.9月/2004, 3月/2005	2003-2004
玉川大学教育博物館	『博物館ニュース 集(SHU)』No.23, 24 『玉川大学 芸術学科教員作品展』図録	2004-2005 1997/10
	『玉川大学教育博物館 館報 創刊号 2002年度』	2004/03
	『玉川大学教育博物館 館報 第2号 2003年度』	2005/03

	『アイコン図録』	—
	『別冊 アイコン図版解説』	—
(株)丹青研究所	『Museum Data』No.62～64	2003-2004
通信総合博物館	『通信総合博物館 年報 (平成15年のあゆみ)』	2004/09
(財)伝統文化活性化国民協会	『伝統文化』No.12～14	2004-2005
	『伝統文化をこどもに』	2004/03
東京都江戸東京博物館	『江戸東京博物館 NEWS』Vol.41、42、44～48	2003-2004
豊島区教育委員会	企画展『あつたかく暮らす』図録	2005/01
豊島区立郷土資料館	『かたりべ』No.72、73、75～77	2003-2005
	企画展『えきぶくろ ～池袋駅の誕生と街の形成～』図録	2004/07
	企画展『伊藤伊兵衛と江戸園芸』図録	2003/04
	『豊島の集団学童疎開資料集(8) 日記・書簡編VII 山田温泉火災関係資料』	2004/03
	『生活と文化 研究紀要 第14号』	2004/12
(社)日本ユネスコ協会	『調査報告書 第17集 戦地からの手紙 I』	2005/03
(財)日本博物館協会	『ユネスコ世界遺産年報2005 (No.10)』	2005/02
	『2004世界博物館大会 “博物館と無形文化遺産”』	2004
	『博物館の望ましい姿シリーズ1 使命・計画作成の手引き』	2004/03
	『博物館の望ましい姿シリーズ2 資料取り扱いの手引き』	2004/03
船の博物館	『資料ガイド5 ～戦前日本の最優秀客船～ 新田丸』	2005/02
(株)文化環境研究所	『文環研レポート』第20、22号	2003-2004
	『Cultivate』No.22～24	2004-2005
港区立港郷土資料館	『資料館だより』第49、50、54、55号	2002-2005
	『港区立港郷土資料館へ行ってみよう!』第1、2号	2004-2005
	特別展『江戸動物図鑑 ～出会う・暮らす・愛でる～』図録	2002/10
	『麻布幣橋地区家屋敷跡遺跡発掘調査報告書』	2002/06
	『越後糸魚川松平家屋敷跡発掘調査報告書』	2003/08
	『承教寺跡・承教寺門前町屋敷遺跡発掘調査報告書』	2004/03
	『港区埋蔵文化財調査年報1 ～平成14年度の調査他～』	2004/03
	『港区人物誌二 永井荷風』	2005/03
	『港郷土資料館 館報 ～22～ 平成15年度版(2003年度版)』	2005/02
	『港区指定文化財資料 屋舗五方相對替一件』	2005/01
港区教育委員会	『港区考古学ブックレット2 港区の江戸時代 I 伊万里・鍋島・薩摩』	2004/11
	『近世江戸城南地区の地域構成 (文政十一年間江戸大絵図より)『新修港区史』付図復刻版』	2004/03
明治大学学芸員養成課	『Museum Study 15号 2003年 明治大学学芸員養成課程 紀要』	2004/03
	『Museologist 19号 2003年度 明治大学学芸員養成課程 年報』	2004/03
(財)吉田茂国際基金	『写真集 吉田茂』	2004/07
江戸東京たても園	特別展&イベント『はらっぱ ～夕暮れまで遊んだころ～』図録	2004/02
くにたち郷土文化館	企画展『くにたちの年中行事 ～四季の祈り(秋から冬へ)～』図録	2003/01
	企画展『三浦小平二展 ～青磁の世界～』図録	2003/05
東京家政大学博物館	共催企画展『国立の古墳 ～四軒在家遺跡の発掘調査～』図録	2001/09
	『欧米のポスター展 ～20世紀初頭のころ～』図録	1997/07
	企画展『レースの系譜 西と東の出逢い』図録	1999/11
	特別展『渡辺学園 裁縫雛型コレクション』図録	2001/06
	『衣服に見る文様 ～日本の北・南～』図録	2002/10
	『語る人形たち』図録	2003/10
東京家政学院生活文化博物館	『年報 第14号』	2004/03
調布市教育委員会	『東京都調布市 埋蔵文化財年報 ～平成14年度(2002)』	2004/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告63 調布岡遺跡 ～第9地点(工場解体工事)の調査～』	2002/09
	『調布市埋蔵文化財調査報告71 調布市の遺跡調査 ～第5集』	2004/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告72 調布岡遺跡 ～第10地点(集合住宅建設)の調査～』	2004/06
調布市郷土博物館	『郷土博物館だより』No.63、65～67	2003-2005
	『調布の文化財』第32～37号	2002-2005
	特別展『天神人形の世界』図録	2004/11
	企画展『下布田古墳群の調査』図録	2003/11
	企画展『下布田古墳群の調査』図録(改定版)	2005/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告58 宿遺跡』	2002/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告61 上布田遺跡』	2002/09
	『調布市埋蔵文化財調査報告62 北浦遺跡』	2002/09
	『調布市埋蔵文化財調査報告64 下石原遺跡』	2002/11
	『調布市埋蔵文化財調査報告66 宿遺跡』	2003/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告67 下石原遺跡』	2003/06
	『調布市埋蔵文化財調査報告68 緑ヶ丘遺跡』	2003/08
	『調布市埋蔵文化財調査報告73 堂山遺跡、富士見町遺跡』	2004/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告74 中耕地遺跡』	2004/03
	『調布市埋蔵文化財調査報告75 下石原遺跡』	2004/08
	『博物館ブックレットNo.2 青南国民学校の神代村疎開』	2004/08



	パルテノン多摩	『〈博物館部門〉年報・紀要 第6号 2002年度』 『資料叢書 第1集 多摩市の植物目録』	2003/12 2004/03
		『資料叢書 第2集 太田克巳家文書 ～勝海舟宛書簡を中心とする資料群』	2004/03
		『パルテノン多摩 〈博物館部門〉 年報 第7号 2003年度』	2004/10
		『パルテノン多摩 〈博物館部門〉 研究紀要 第8号』	2004/12
	府中市郷土の森博物館	『府中市郷土の森だより あるむげお』No.63、66～71 『府中市郷土の森博物館 常設展ガイドブック』 『紀要 第17号』	2003-2005 2004/03 2004/03
		『府中市内家分け古文書目録7 大國魂神社文書目録(1)』	2004/03
		『府中市内家分け古文書目録8 大國魂神社文書目録(2)』	2005/01
		『府中市郷土の森博物館年報 第17号』	2004/03
		『府中市郷土の森博物館年報 第18号』	2004/08
		『ブックレット5 武蔵府中くらやみ祭』	2004/10
		『ブックレット6 古代武蔵国府』	2005/02
	福生市郷土資料室	特別展『江戸の教科書 ～往来物と子どもたち～』図録 特別展『小峰雨岬 水墨画 没後10年回顧展』図録	2004/02 2003/01
		『福生市郷土資料室年報22 平成13年度』	2003/03
		『福生市郷土資料室年報23 平成14年度』	2004/03
		『ガイドブック 福生市の文化財』	2003/03
	町田市立自由民権資料館	『自由民権17号』	2004/03
		『民権ボックス17号 多摩/TAMA ～住民意識と地域イメージの物語～』	2004/03
	町田市立博物館	『見世物人形細工人達の系譜』図録	2004/03
<b>新潟県</b>	上越市立総合博物館	『上越市立総合博物館 年報 2003,4～2004,3』	2004/03
<b>山梨県</b>	環境省自然環境局生物多様センター 南アルプス市教育委員会	『生物多様性センター ニュースレター』第7、8、10～14号 『南アルプス市埋蔵文化財調査報告書 第1集 村北第2遺跡』 『南アルプス市埋蔵文化財調査報告書 第2集 寺部村附第6遺跡』 『若草町埋蔵文化財調査報告書 第4集 溝呂木道上第5遺跡(第Ⅱ地点)』 『八田村文化財調査報告書 第7集 六科・村北遺跡』 『櫛形町文化財調査報告書 No.22 横道遺跡』 『櫛形町文化財調査報告書 No.23 新居田B遺跡』 『八田村文化財調査報告書 第6集 平成13・14年度埋蔵文化財試掘調査報告書』 『若草町埋蔵文化財調査報告書 第5集 将監堤』	2003-2005 2004/03 2004/03 2003/03 2003/03 2001/09 2002/03 2003/02 2003/03
<b>長野県</b>	茅野市教育委員会 茅野市八ヶ岳総合博物館	『尖石遺跡』 『紀要 第12号 平成15年度』 『茅野市の博物館・文化財課だより 八ヶ岳、通信 No.22』	2004/03 2004/03 2004
<b>岐阜県</b>	(財)藤村記念館	『藤村記念館だより』第104、106、107～110号	2003-2005
<b>静岡県</b>	静岡市立登呂博物館 静岡県立美術館 月光天文台 袋井市教育委員会	『静岡市立登呂博物館館報 14 ～平成15年度～』 『アマリス』No.69、72～76 『暦 ～月日を奏でる世界～』 『平成14年度 掛之上遺跡』	2004/09 2003-2004 2004/02 2003/03
	舞阪町立郷土資料館	『愛野向山Ⅱ遺跡』 『舞阪町立郷土資料館通信』第84～93号 『享和元年西国巡礼日記』	2004/03 2003-2004 2004/09
		『平成15年度 2003 舞阪町立郷土資料館 年報 第13号』	2004/06
	藤枝市郷土博物館 三島市教育委員会	『藤枝市郷土博物館 年報15』 『史跡 山中城跡』 『文化財年報 第15号』	2004/03 2004/03 2003/12
		『三島市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅸ』	2004/03
		『静岡県三島市 南山D遺跡、東山遺跡、香音Ⅱ-D遺跡、奥山遺跡』	2004/03
	焼津市歴史民俗資料館	『第五福龍丸 ～平和の願い～』図録 『焼津市歴史民俗資料館 年報17 ～平成14年度～』	2004/08 2003/08
<b>愛知県</b>	安城市歴史博物館	『博物館ニュース』No.48 『年報 第13号 平成15年度』	2003 2004/08
	豊橋市教育委員会	『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第74集 東籠田古窯 橋良東郷古窯』 『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第75集 城戸中遺跡』 『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第76集 車神社古墳 宮脇1号墳 西側古墓群』 『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第77集 羽根井遺跡(Ⅰ)』 『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第78集 市内遺跡詳細分布報告調査書』 『豊橋市埋蔵文化財調査報告書 第79集 新堂ノ前遺跡』 『豊橋市遺跡地図』	2003/10 2003/10 2003/10 2004/03 2004/03 2004/03 2004/03
	豊橋市自然史博物館 豊橋市美術博物館	『豊橋市自然史博物館 年報 第16号 平成15年度』 『研究紀要 11号』 『研究紀要 12号』 『研究紀要 13号』	2004/06 2002/03 2003/03 2004/03
	豊橋市美術博物館友の会	『風伯』第45～51号	2002-2004
<b>三重県</b>	亀山市歴史博物館	特別展『亀山宿のうつりかわり』図録	2004/10

		『平成14年度 亀山市歴史博物館年報 第9号』	2004/03
		『亀山市歴史博物館歴史資料叢書 第十集 近世亀山の武家社会 ～石川家老加藤家～』	2004/04
		『亀山市歴史博物館歴史資料叢書 第十一集 大名石川康通死後、家中騒動史料集』	2004/02
	ミキモト真珠島	『パルル Vol.27』	2003
<b>滋賀県</b>	大津市歴史博物館	『大津暦博だより』No.50、51、54～56、58	2003-2005
	草津市教育委員会	『草津市文化財調査報告書 第54号 草津市文化財年報 X I』	2004/03
	草津宿街道交流館	『街道文化』Vol.8～10	2004-2005
		2004年秋季テーマ展『浮世絵展 広重・三代豊国らの描く街道風景』図録	2004/10
<b>京都府</b>	佛京都科学	『Museum Works』Vol.15、16	2004-2005
	京都市動物園	『平成14年度 事業概要』	2003/12
	舞鶴市立赤れんが博物館	『赤れんが博物館 舞鶴赤れんがりレポート No.10』	2003
<b>大阪府</b>	大阪市立自然史博物館	『大阪市立自然史博物館 収蔵資料目録 第34集 大阪府の蛾類』	2002/03
		『自然史研究 第384号』	2004/03
		特別展『実物 日本鳥の巣図鑑 ～小海途銀次郎コレクション～』図録	2003/07
		『「学校」・「地域」と自然史博物館』	2003/03
		『大阪市立自然史博物館 館報 27 (平成13年度)』	2003/03
		『大阪市立自然史博物館研究報告 56号』	2002/12
		『大阪市立自然史博物館研究報告 57号』	2003/03
		『大阪市立自然史博物館研究報告 58号』	2004/03
		『ミニガイド20 大阪の樹木2 ～社寺林の木～ ツバキ科・ヤブコウジ科』	2003/03
	富田林市教育委員会	『中野遺跡発掘調査概要VI』	2003/02
		『富田林市埋蔵文化財調査報告35 新堂庵寺跡 オガンジ地瓦窯跡・お亀石古墳』	2003/03
	富田林市遺跡調査会	『富田林市遺跡調査会報告22 廿山南古墳』	2003/03
		『富田林市遺跡調査会報告23 西板持遺跡 I』	2003/03
		『富田林市遺跡調査会報告24 畑ヶ田南遺跡 I』	2004/03
	環瀬戸内地域 自然史系博物館ネットワーク推進協議会	『「地域の自然」の情報拠点 自然史博物館』	2002/03
<b>兵庫県</b>	神戸市立博物館	『博物館だより』No.80、81、83～85	2003-2004
	龍野市立歴史文化資料館	特別展『揖保郡 ～播磨国揖保郡の文化財』図録	2004/09
<b>鳥取県</b>	全国かくれキリシタン研究会事務局	『平成15年度 全国かくれキリシタン研究会会誌 第15号』	2004/05
<b>愛媛県</b>	愛媛県歴史文化博物館	『歴博だより』No.33～35、38～41	2003-2004
<b>高知県</b>	高知県立牧野植物園	『高知県立牧野植物園 年報 第3号 (2003)』	2004/05
<b>宮崎県</b>	北方町教育委員会	『北方町文化財報告書 第20集 上崎地区遺跡3』	2003/03
<b>熊本県</b>	熊本市現代美術館	『生人形と松本喜三郎』図録	2004
<b>北海道</b>	(財)アイヌ民族博物館	『アイヌ民族博物館だより No.51』	2004/09
		『アイヌと自然シリーズ第4集 アイヌと植物 <薬用編>』	2004/02
		『アイヌ民族博物館研究紀要 第8号』	2004/03
	帯広百年記念館	『帯広百年記念館 紀要 第22号』	2004/03
<b>青森県</b>	みちのく北方漁船博物館	『船の博物館だより』第4、5号	2004-2005
		特別展『灯台 ～海の道しるべ～』図録	2003/10
		特別展『船の誕生』図録	2004/09
		『ムダマハギで海に出よう ～和船の操船技術～』	2004/03
<b>岩手県</b>	牛の博物館	『牛のはくぶつかん』第20、22号	2004/10
		『モコ通信』第24～31号	2002-2004
		『家族で楽しむ企画展2005 コケッココー』図録	2004/11
		『平成15年度 年報 (2003,4～2004,03)』	2004/10
<b>福島県</b>	奥会津地方歴史民俗資料館	『資料館だより 第2号』	2003

## 文化財

### ■文化財専門委員会

#### <委員の構成>

- ・委員 長／高橋秀男（植物）
- ・副委員長／稲葉和也（建築）
- ・委員／三浦勝男（歴史） 薄井和男（彫刻）  
小川直之（民俗） 田尾誠敏（考古）

#### <委員会の開催>

- ・第1回／平成16年5月27日 平成15年度事業報告について、平成16年度事業計画について
- ・第2回／平成16年11月25日 平成16年度事業の進捗状況について、今後の予定について、報告事項、文化財指定候補について
- ・第3回／平成17年2月3日 平成16年度事業の進捗状況について、平成17年度事業予定について、報告事項、文化財指定候補について

### ■文化財の調査

#### <文化財巡回調査>

町内所在の国・県指定文化財等の現状と管理状況を把握するため、調査員2名を推薦（神奈川県教育委員会より委嘱）し、現地を巡回し実態を調査した。

- ・調査対象／2件（大磯高麗山の自然林、大磯照ヶ崎のアオバト集団飛来地）

#### <大磯町社寺建築調査委託>

町内の社寺建築についての調査を委託した。本年度はこれまでの補充調査とまとめを実施した。

- ・委託先／大磯町社寺建築調査委員会

### ■文化財の保護啓発

#### <史跡管理委託>

神奈川県指定史跡釜口古墳の敷地管理を委託した。

- ・委託先／岩本商事

#### <指定文化財の現状変更>

神奈川県指定文化財（天然記念物）および町指定文化財（天然記念物）の現状変更をおこなった。

- ・変更対象3件／（大磯高麗山の自然林1件、鷹取神社の社叢林1件、稲荷神社の樹林1件）

#### <指定文化財の保護>

指定文化財の保護と管理奨励のために、交付金ならびに修理等補助金を交付した。

- ・町指定有形文化財管理奨励交付金／16件
- ・民俗資料保存団体交付金／6件（高麗山神輿保存会、相模国府祭保存会、大磯御船祭保存会、西小磯七夕祭保存会、大磯町左義長保存会、白岩神社歩射保存会）
- ・指定文化財保存修理等補助金／2件（鷹取神社の社叢林、稲荷神社の樹林）

<文化財講座>

文化財に対する理解と保護啓発のために文化財講座をおこなった。

- ・テーマ／高麗山周辺地域に見られる薬用植物
- ・日 時／平成16年10月17日（日）
- ・講 師／石井竹夫氏（元獨協医科大学講師・薬剤師有資格者）
- ・参加者／41人

<文化財防火デー>

町内所在の文化財保有施設について、消防署の協力のもと防火設備点検をおこなった。

- ・対象施設／王福寺（本堂、文化財収蔵庫）
- ・日 時／平成17年3月11日（金）

■埋蔵文化財

<埋蔵文化財出土品整理委託>

緊急地域雇用創出特別対策事業の一環として、出土遺物の洗浄ならびに注記等を委託した。

- ・委託先／（株）玉川文化財研究所

<文化財保存処理委託>

堂後下横穴墓群出土金属製品4点（耳環3点、鉄1点）の保存処理を委託した。

- ・委託先／（株）東都文化財保存研究所

<緊急発掘調査等>

開発等にもない、埋蔵文化財にかかわる事前相談に対応し、立会調査ならびに試掘調査等を実施した。

- ・照 会／133件
- ・事前相談／27件
- ・立会調査／12件（馬場台遺跡<No.114>5件、坊地遺跡2件、No.118遺跡1件、No.120遺跡1件、No.101遺跡隣接地1件、No.114遺跡隣接地1件、No.148遺跡隣接地1件）
- ・試掘調査／7件（馬場台遺跡3件、No.169,96遺跡1件、No.111遺跡1件、坊地遺跡<No.107>1件、No.118遺跡1件）
- ・土木工事通知（法57条の3）進達／2件
- ・発見届・保管証、埋蔵物の文化財認定／1件

<調査概要>

遺跡の名称	No.169、96遺跡
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年6月2日～4日
所在地	大磯町虫窪字俎板台、窪頭 ／黒岩字沢尻、前野笹
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	33 m <sup>2</sup>
調査の原因	公園墓地造成
発見遺構	なし
発見遺物	縄文土器
遺跡の時期	縄文時代
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備 考	

遺跡の名称	馬場台遺跡（No.114） [立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年6月23日
所在地	大磯町国府本郷字神揃山下1, 414-3
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	個人住宅
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備 考	

遺跡の名称	馬場台遺跡45地点 (No.114)
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年7月7日～22日
所在地	大磯町国府本郷字大畑1, 392-1他
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	25 m <sup>2</sup>
調査の原因	老人ホーム建設
発見遺構	土坑・溝上遺構
発見遺物	土師器、須恵器、鉄滓、動物遺体・陶器
遺跡の時期	古墳時代以降
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備考	

遺跡の名称	No.114遺跡隣接地 [立会調査]
遺跡の種類	
調査期間	平成16年7月8日
所在地	大磯町国府本郷字西馬場1, 113-10、11
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	個人住宅
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	

遺跡の名称	坊地遺跡 (No.107) [立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年8月4日
所在地	大磯町高麗2-12-4
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	店舗
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	

遺跡の名称	No.114遺跡隣接地 [立会調査]
遺跡の種類	
調査期間	平成16年8月6日
所在地	大磯町生沢馬場尻23-11
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	33 m <sup>2</sup>
調査の原因	公園墓地造成
発見遺構	なし
発見遺物	縄文土器
遺跡の時期	縄文時代
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備考	

遺跡の名称	No.173、101遺跡隣接地 [立会調査]
遺跡の種類	
調査期間	平成16年8月10日
所在地	大磯町国府新宿字長谷川556-39
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	個人住宅
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	

遺跡の名称	馬場台遺跡46地点 (No.114)
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年8月20日～21日
所在地	大磯町月京36-1
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	9.4 m <sup>2</sup>
調査の原因	宅地分譲
発見遺構	なし
発見遺物	土師器
遺跡の時期	古墳時代以降
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備考	

遺跡の名称	坊地遺跡R地点 (No.107)
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年11月4日
所在地	大磯町高麗2-543-4外
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	4 m <sup>2</sup>
調査の原因	宅地造成
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	

遺跡の名称	南仮宿VI地点 (No.118)
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成16年11月26日、30日
所在地	大磯町国府本郷字南川37
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	6.2 m <sup>2</sup>
調査の原因	宅地造成
発見遺構	なし
発見遺物	陶磁器
遺跡の時期	近代
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備考	

遺跡の名称	馬場台遺跡 [立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成17年1月21日
所在地	大磯町国府本郷東馬場1337-3外
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	個人住宅
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	

遺跡の名称	馬場台遺跡 [立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成17年2月2日
所在地	大磯町国府本郷西馬場1113-6、8
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	個人住宅
発見遺構	なし
発見遺物	土師器
遺跡の時期	古墳時代以降
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備考	

遺跡の名称	No.148遺跡隣接地 [立会調査]
遺跡の種類	城跡
調査期間	平成17年2月18日
所在地	大磯町国府本郷513-1
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	個人住宅
発見遺構	なし
発見遺物	赤煉瓦
遺跡の時期	
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備考	

遺跡の名称	No.120遺跡 [立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成17年2月21日
所在地	大磯町寺坂字根下668-18
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	宅地造成
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	

遺跡の名称	坊地遺跡 [立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成17年2月24日
所在地	大磯町高麗2-97-18外
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	個人住宅
発見遺構	なし
発見遺物	赤煉瓦
遺跡の時期	
遺跡の保管	大磯町教育委員会
備考	

遺跡の名称	南仮宿VI地点 (No.118) [立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成17年3月9日
所在地	大磯町国府本郷字南川37
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	宅地造成
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	* 試掘調査：平成16年11月26日、30日

遺跡の名称	馬場台遺跡47地点 (No.114) [立会調査]
遺跡の種類	遺物散布地
調査期間	平成17年3月18日
所在地	大磯町国府本郷字鳥戸1, 242-3外
調査機関	大磯町教育委員会
調査担当者	國見 徹
調査面積	
調査の原因	宅地造成
発見遺構	なし
発見遺物	なし
遺跡の時期	
遺跡の保管	
備考	* 試掘調査：平成16年10月28日～29日

# 研究報告

---

# 年 報

平成 16 年度

◇ 平成 17 年 12 月 28 日発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463 (61) 4700

FAX 0463 (61) 4660